平成２８年度

事　業　報　告　書

社　会　福　祉　法　人

菊川市社会福祉協議会

平成 28 年度　菊川市社会福祉協議会事業報告

目　　次

平成 28 年度事業報告の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

１　社協基盤強化と活性化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２　地域福祉推進事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

３　在宅福祉サービス事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

４　菊川児童館事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７

５　小笠児童館事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

６　きくがわ子育て支援センター「たんぽぽ」事業　・・・・・・・・・５７

７　おがさ子育て支援センター「ひまわり」事業　・・・・・・・・・・６４

８　介護保険事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７０

９　障害者総合支援法事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７２

事業報告の概要

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する組織として、自治体や目的を共にする様々な活動主体と協働し、住民が地域で支え合う環境づくりを進めるために積極的な役割を果たし、公共福祉サービスや他の民間事業者等では対応し難い人々の生活課題に対する相談支援の充実・強化に努め、福祉を基盤とした「まちづくり」に取り組んできた。

地域福祉推進事業については、第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、「地域福祉の推進～つながりの“輪”きくがわ～」を目指して行政と社会福祉協議会、地域が三位一体となって取り組みを始めました。
さらに住民相互が地域で支えあう仕組みを構築し、住民あるいは地域団体・組織と協働して、「顔の見える社会福祉協議会」となるよう、活動基盤の環境整備の推進、住民ニーズに応えた事業展開に努めました。

介護保険事業については、地域で暮らす高齢者等を支える在宅サービスの主たる担い手として、介護サービスの質の向上や効率的な運営に努めた。
また、平成 26 年度に策定した「菊川市社会福祉協議会介護保険事業等実施（再建）計画」に基づき、今年度は年間を通じて経営改善会議を実施し、各事業所の目標を掲げ、目標達成に向け、積極的な利用者の受入やコスト削減を意識した業務の遂行等努力した。

児童館事業では、乳幼児親子から小・中学生、高校生までが気軽に利用でき、親子や大人・子ども同士の「出会いとふれあいの場」となるように自由来館と交流事業を行った。子育て支援センター事業は、子どもと育児をする人たち（家庭・地域）を応援し、子育ての不安や悩みの解決、子育て支援活動を目的に各種事業を行い、住民のニーズに応じた事業展開を図った。

今後、社会福祉協議会がこれらの役割・事業を住民に対し存分に発揮し、住民とともに自助・共助・互助を基本とした『地域の福祉力』の強化に取り組み、開拓性、即応性、柔軟性を活かした事業展開が可能となるよう、社会福祉協議会としての考え方を整理し、また将来に対しての方向性も確立させ、取組みを強化していく。

１　社協基盤強化と活性化

Ⅰ　会務の運営

平成 28 年度法人会務として、理事会を３回、評議員会を３回開催し、監事による会計監査は決算監査、月例会計監査を実施した。

（１）理事会

期　日　　平成 28 年５月 26 日（木）　午前９時から
場　所　　プラザけやき（201 会議室）
出席者　　12 名、監事２名
議　題　　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会評議員の選任
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部変更
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正
・平成 27 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業報告の認定
・平成 27 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会決算の認定
・平成 28 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第１次補正予算

期　日　　平成 28 年 10 月 27 日（木）　午前９時から
場　所　　プラザけやき（201 会議室）
出席者　　13 名
議　題　　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部変更
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の制定及び一部改正
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任
・平成 28 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第２次補正予算

期　日　　平成 29 年３月 14 日（火）　午前９時から
場　所　　プラザけやき（201 会議室）
出席者　　11 名
議　題　　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会評議員候補者の承認
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部変更
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正
・平成 28 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第３次補正予算
・平成 29 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業計画
・平成 29 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会当初予算
・平成 29 年度「きくがわ社協だより」印刷業務委託入札執行に係わる業者指名

（２）評議員会

期　日　　平成 28 年５月 26 日（木）　午後 1 時 30 分から
場　所　　プラザけやき（201 会議室）
出席者　　28 名、監事２名
報　告　　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正
議　題　　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会理事の選任
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部変更

・平成 27 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業報告の承認
・平成 27 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会決算の承認
・平成 28 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第１次補正予算

期　日　　平成 28 年 10 月 27 日（木）　午後 1 時 30 分から
場　所　　プラザけやき（201 会議室）
出席者　　26 名
報　告　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の制定及び一部改正
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任
議　題　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部変更
・平成 28 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第２次補正予算

期　日　　平成 29 年３月 14 日（火）　午後 1 時 30 分から
場　所　　プラザけやき（201 会議室）
出席者　　21 名
報　告　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会評議員候補者の承認
・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正
議　題　・社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部変更
・平成 28 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第３次補正予算
・平成 28 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業計画
・平成 29 年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会当初予算

（３）会計監査
決算監査　平成 29 年５月 22 日（月）
月例監査　毎月 25 日前後に実施

Ⅱ　役員・職員の研修

（１）役員視察研修
期　　日　　平成 28 年７月 26 日（火）から 27 日（水）
場　　所　　社会福祉法人豊岡市社会福祉協議会（兵庫県　豊岡市）
研修内容　　①生活支援コーディネーターについて
②総合相談・生活支援センターについて
③「社協職員(コミュニティワーカー)」としての意識付け及び資質向上」の取り組みについて
出 席 者　　役員 12 名、職員３名　　計 15 名

（２）部会及び委員会活動
委員会活動　毎月１回の業務改善委員会を開催し、職員の資質向上を図った。

（３）社協職員の業務研修

各事業に係わる各種専門研修に参加

職員研修の実施

「だから…もっとコミュニケーション」というタイトルでコミュニケーション講座を開催した。内容としては、肯定的な言葉選びと言い回し、応対力の演習等を行った。

開催日　平成 29 年２月３日（金）
　　午後７時～午後９時
会　場　プラザけやき 201 会議室
講　師　大野　晴己　氏　（株式会社はあもにい　代表取締役）
　　山田　穎二　氏　（株式会社はあもにい　執行役員）

Ⅲ　会費納入状況

平成 28 年度　会費納入総額　10,592,800 円

【内訳】

一　般　会　費

一 世 帯	@800 円	9,680,800 円	(12,101 世帯)

施設・団体会費

施設会員	@3,000 円	63,000 円	(21 施設　16 口)
団体会員	@1,000 円	5,000 円	(　5 団体　5 口)

賛　助　会　費

法人会員	@3,000 円	700,000 円	(168 法人　233 口)
個人会員	@1,000 円	144,000 円	(97 人　144 口)

Ⅳ　共同募金事業

社会福祉法に基づき実施される募金事業で、全国一斉に 10 月 1 日から 12 月 31 日まで実施。菊川市における募金運動は、菊川市共同募金委員会が募金の募集・管理・静岡県共同募金会への送金等を行った。この募金の配分（助成）は本会および菊川市内各地域・施設等の行う社会福祉事業に活用されている。

（１）　赤い羽根共同募金運動の実施

＜募金実績＞

	平成 27 年度	平成 28 年度
戸別募金	3,943,588 円	3,913,416 円
法人募金	1,138,614 円	1,167,895 円
その他	340,470 円	344,445 円
合　計	5,422,672 円	5,425,756 円

（２）　歳末たすけあい運動の実施

＜募金実績＞

	平成 27 年度	平成 28 年度
戸別募金	1,690,109 円	1,677,174 円
その他	418,178 円	302,935 円
合計	2,108,287 円	1,980,109 円

２　地域福祉推進事業

地域福祉サービス事業は、福祉のまちづくりを基本とした事業を実施するために小地域福祉活動の推進を図ります。職員が積極的に地域に出向き、各地区センターを拠点とし、地域住民と一緒にその地域を考え、共に小地域福祉活動を展開しました。
また、地域に住む一人暮らし高齢者等の見守り活動など地域のさまざま問題やニーズにも敏感に反応し、事業展開につなげていけるよう地域住民や社会福祉事業者と共に地域福祉の推進・充実を図りました。

１　地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進評価
（１）　地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会
福祉課と共同事務局を担い、平成 28 年度から５年間の「第３次菊川市地域福祉計画・地域福祉活動計画」推進評価のための委員会を開催しました。

「推進委員会の開催」

回数	月日	内容
1	平成 28 年 11 月４日（金）	・第３次計画　評価を実施する委員（メンバー）について ・第３次計画　評価方法・考え方について ・国立愛知教育大学　名誉・特別教授（増田先生）の講話について
2	平成 29 年３月 13 日（月）	・委員の変更について ・三位一体で取り組む重点事業の活動報告について(市・社協・地域) ・　国立愛知教育大学　増田名誉教授)からの説明

２　市民福祉教育の推進事業
（１）　市民社会福祉大学
日　時　平成 29 年２月 25 日（土）午後１時 30 分～午後３時 15 分
場　所　菊川市中央公民館　多目的ホール
講　演　老いの風景　～ 介護する側、される側の心理や老いへの 心構え～
講　師　渡辺哲雄氏（日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員）
参加者　126 名

（２）　みんなのしあわせ懇談会
各地区での地域課題を探り出し事業展開に反映させるとともに、地域住民との懇談及び資料提供を通じて地域課題や小地域福祉活動の必要性の理解を図ることを目的に開

催しました。

開催日時と参加人数

	開催地	開催月日	参加人数		開催地	開催月日	参加人数
1	町部地区	8 月 17 日（水）	31	7	河城地区	8 月 30 日（火）	56
2	横地地区	8 月 19 日（金）	42	8	内田地区	9 月 1 日（木）	65
3	小笠東地区	8 月 24 日（水）	48	9	小笠南地区	9 月 5 日（月）	39
4	加茂地区	8 月 25 日（木）	48	10	嶺田地区	9 月 26 日（月）	44
5	六郷地区	8 月 26 日（金）	60	11	平川地区	10 月 14 日（金）	24
6	西方地区	8 月 29 日（月）	44	合計			501

時　間：午後 7 時 00 分～ 9 時 00 分
場　所：各地区センター・コミュニティセンター

（3）　地域福祉教育実践校助成事業

小・中学校及び高等学校の児童生徒に対し、地域住民との関わりを持った福祉教育を学校と連携しながら幅広く福祉学習の機会を提供することや、地域と関わりを持ち、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に、市内 9 小学校、3 中学校に助成金を交付するとともに、福祉教育に関する相談・プログラムの提供と調整・作成等に関わり各校の取り組みを支援した。

3　小地域福祉活動の推進事業

（1）　小地域福祉活動推進事業

小地域福祉活動コーディネーターが、小地域福祉活動を支援しその活動を活性化することを目的に、研修や情報交換のため、下記連絡会等を開催した。

ア　支え合いのための地域づくり研修会

平成 29 年度から開始する介護保険制度の総合事業について周知し、各地区での福祉活動に活かすことを目的に研修会を開催した。

日　時　平成 29 年 3 月 13 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場　所　プラザけやき　201 会議室
内　容　①講義　「地域における新たな支え合いに向けて」
講　　師　　愛知教育大学　名誉教授　増田　樹郎氏
②実践報告　「小笠南地区生活支援サービスの取り組み」
報 告 者　　みなみやまの会（小笠南地区社会福祉協議会）
③お知らせ　　菊川市役所長寿介護課
参 加 者　42 名

イ　ふれあい・いきいきサロン連絡会

ふれあいいきいきサロンとは何か、今後を見据えたサロン運営のあり方を考える機会とし、ふれあいいきいきサロンを今後立ち上げる人のための参考となるよう連絡会を開催した。

日　時　平成 28 年 9 月 30 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場　所　プラザけやき　201 会議室
内　容　グループごとに分かれての情報交換
参加者　22 名

（2）　地域福祉推進基礎組織育成（モデル）事業

地域福祉を推進し、地域のニーズを地域で解決していくための地域福祉推進基礎組織の育成を図ることを目的に、各地区のコミュニティ協議会に地域福祉の推進を図る部会を設置して地域福祉推進基礎組織の育成を図った。

また、社会福祉協議会の職員（小地域福祉活動コーディネーター）が各地区の活動を支援した。

ア　地区社会福祉協議会情報交換会

市内 11 地区の地区社会福祉協議会と今後の地域福祉推進についての情報交換を行った。

日　時　平成 28 年 12 月 16 日（金）
　　午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
内　容　意見交換「ワールド・カフェ」
　　＜テーマ＞
　　「三位一体で取り組む重点事業について」
場　所　プラザけやき　201 会議室
参加者　26 名

各地区の取り組み

ア　西方地区

西方地区内の 4 自治会において高齢者サロンを開催した。堀之内小学校事業への協力を通し、学区内の 77 歳以上高齢者世帯を対象に、手作りのお守りとメッセージカードを

配布した。お守りとメッセージカードは、堀之内小学校６年生児童の協力を得て制作した。

また、平成 28 年度より新規の取り組みとして、堀之内小学校６年生児童への卒業祝いにコサージュを制作した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	６回開催	―
公文名・沢田サロン 堀之内サロン 田ヶ谷サロン 堀之内サロン	５月 26 日　（木） ７月６日　（水） 10 月 27 日　（木） 11 月 16 日　（水）	34 名 25 名 20 名
お守り・メッセージカード制作	11 月３日　（木）	
	11 月６日　（日）	
	11 月 19 日　（土）	
	11 月 23 日　（水）	
堀之内小学校６年生児童とのお守り・メッセージカード制作	12 月５日　（月）	
堀之内小学校事業への協力	12 月 15 日　（木）	
コサージュ制作	３月５日　（日）	
	３月８日　（水）	
	３月９日　（木）	
	３月 11 日　（土）	

イ　町部地区

町部地区を３つの地域に分け、高齢者のふれあいいきいきサロンを開催した。また、福祉講演会、健康講座、見守り活動の意向調査を民生委員児童委員の協力のもと行った。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催	―
日吉町・宮前・緑ヶ丘サロン	４月 21 日　（木） ７月 21 日　（木） 10 月 27 日　（木） １月 19 日　（木）	31 名 10 名 17 名 12 名

内容	実施状況	参加人数
柳町サロン	５月 19 日　（木） ８月 25 日　（木） 11 月 24 日　（木） ２月 23 日　（木）	９名 10 名 ９名 12 名
新通･初咲町･日之出１・本通り・西通りサロン	６月 23 日　（木） ９月 15 日　（木） 12 月８日　（木） ３月 16 日　（木）	21 名 21 名 24 名 17 名
福祉講演会	９月 10 日　（土）	約 40 名

ウ　加茂地区

サロン活動として、ゆうゆうサロン、小川端サロン、白岩下サロン、白岩段サロン、白岩東拠り所、三軒家憩の場が実施された。

また、「しめ飾りをひとり暮らし高齢者に届ける企画」においては、民生委員児童委員と加茂小学校４・５・６年生とがひとり暮らし高齢者宅を訪問し、会話をしながら手づくりのしめ飾りを手紙と一緒に手渡した。その他、「居場所についての学習会」を実施し、居場所の意義や様々な居場所の形を学んだ。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
生き生き部会	５回開催	―
ゆうゆうサロン（加茂地区全体）	全 48 回　（水）	延 1,507 名
小川端サロン （対象：80 歳以上、ひとり暮らし高齢者、日中ひとり暮らしの高齢者）	５月 20 日　（金） ８月５日　（金） 12 月 16 日　（金） ３月４日　（土）	33 名 52 名 29 名 50 名
白岩下サロン（対象：77 歳以上）	６月６日　（月） ９月 26 日　（月） 12 月５日　（月） ３月５日　（日）	40 名 36 名 36 名 46 名
白岩段サロン（対象：80 歳以上）	４月 14 日　（木） 11 月６日　（日） 12 月 20 日　（火） ２月 16 日　（木）	20 名 19 名 24 名 25 名

内容	実施状況	参加人数
白岩東拠り所（対象：白岩東自治会住民）	４月６日　（水） ５月４日　（水） ６月１日　（水） ７月６日　（水） ８月３日　（水） ９月７日　（水） 10 月５日　（水） 11 月２日　（水） 12 月７日　（水） １月４日　（水） ２月１日　（水） ３月１日　（水）	15 名 12 名 24 名 17 名 19 名 15 名 13 名 19 名 12 名 17 名 17 名 18 名
三軒家憩の場（対象：三軒家自治会住民）	４月５日　（火） ５月３日　（火） ６月７日　（火） ７月５日　（火） ８月２日　（火） ９月６日　（火） 10 月４日　（火） 11 月１日　（火） 12 月６日　（火） １月 10 日　（火） ２月７日　（火） ３月７日　（火）	17 名 15 名 18 名 16 名 21 名 18 名 24 名 29 名 26 名 28 名 25 名 22 名
しめ飾りをひとり暮らし高齢者に届ける企画	12 月 23 日　（金）	21 名
居場所についての学習会	９月９日　（金）	46 名

エ　内田地区

徳々サロンとひだまりの会サロンが開催された。

「徳々サロン」は東平尾、平尾、西平尾の３地区が対象、「ひだまりの会サロン」は内田全地域の一人暮らし高齢者の方、日中一人の方を対象とし、レクリエーションやおしゃべりなど、昼食も含め楽しい時間を過ごした。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	９回開催	―
徳々サロン【東平尾】（東平尾公民館）	６月 13 日　（月） ８月８日　（月） 11 月７日　（月） ２月６日　（月）	21 名 13 名 17 名 16 名
徳々サロン【平尾】（西平尾公民館）	５月 25 日　（水） ８月 18 日　（木） 10 月 28 日　（金） ２月 14 日　（火）	13 名 23 名 17 名 17 名
徳々サロン【西平尾】（西平尾公民館）	６月３日　（金） ７月 29 日　（金） 10 月 21 日　（金） ２月 24 日　（金）	15 名 17 名 20 名 15 名
ひだまりの会（内田地区センター）	５月 18 日　（水） ８月 18 日　（木） 11 月 17 日　（木） ２月 16 日　（水）	16 名 20 名 20 名 20 名

オ　横地地区

七重会配食事業の配達を地域サポーターが民生委員と連携し行った。今年度よりお弁当箱をプラスチック製のパックの物に見直しを行い、回収・洗浄が無くなったことから時間的な余裕が生まれスムーズ活動が出来て来ている。また横地いきいきサロンと、横地地区センターまつりにも参加し、当日の運営に携わった。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	４回開催	―
七重会配食	奇数月６回開催	
横地いきいきサロンへの参加	10月８日（土）	53 名
横地地区センターまつりへの参加(バザー販売)	11月 13 日（日）	―

カ　六郷地区

高齢者に贈る「文化の集い」の開催や、時間通貨事業、救急医療情報キット配布事業を行った。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
第５回高齢者に贈る「文化の集い」	12 月 10 日（土）	約 80 名

キ　河城地区

昨年度に引き続き、和田、沢水加、東富田、西富田、上倉沢、友田の６地区において、サロン活動や三世代交流事業等を実施した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	１回開催	10 名
おたっしゃクラブ（和田地区）	４月４日　（月）	23 名
	６月７日　（火）	26 名
	７月５日　（火）	33 名
	９月 10 日　（土）	40 名
	10 月 11 日　（火）	33 名
	11 月８日　（火）	35 名
	12 月 23 日　（金）	
	午前　午後	60 名
	１月 31 日　（火）	65 名
沢水加いきいきサロン（77 歳以上）	４月 10 日　（日）	25 名
	６月 19 日　（日）	27 名
	８月 21 日　（日）	24 名
	12 月 13 日　（火）	26 名

内容	実施状況	参加人数
東富田ふれあいサロン（70 歳以上）	４月６日　（水） 10 月 22 日　（土） 12月７日　（水） ２月５日　（日）	25 名 27 名 24 名 26 名
西富田ふれあいサロン（70 歳以上）	４月１日　（金） ７月 22 日　（金） 12 月 18 日　（日） ２月４日　（土）	23 名 20 名 27 名 29 名
友田有志会	４月５日　（火） ７月 23 日　（土） ８月 21 日　（日） 10 月 15 日　（土） 12 月 18 日　（日）	15 名 26 名 18 名 23 名 22 名
上倉沢ふれあいサロン	６月４日　（火） 11 月３日　（木）	20 名 20 名

ク　平川地区

（ア）CART ひらかわサポーター

17 名の地域サポーターが、平川地区にお住まいの一人暮らし高齢者・日中独居（75 歳以上）現在 22 名の見守り活動を行っている。この活動は、日常的な見守りが必要な人のちょっとした変化や異変に気づくことが重要であり、各担当地区の民生委員・児童委員、地域住民（近隣）の御協力を得て実施している。

また、高齢者が、安全・安心を確保することを目的に、万一の救急時に救命作業を敏速に行うために備える、救急医療情報キットの配布に努め、現在 142 名に配布し、地域普及活動に取り組んでいる。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催	―
平川地区みんなの交流会への参加	７月 17 日　（日）	12 名
ふるさと夏まつり小笠への参加	８月 14 日　（日）	―
平川会館まつりへの参加	11 月６日　（日）	―

内容	実施状況	参加人数
小笠北小学校周辺の草取り	３月 26 日　（日）	―
平川地区の見守り運動	随時実施	―
救急医療情報キットの普及	随時実施	―
堤サロン（堤公会堂）	７月 21 日　（木）	16 名
	10 月 27 日　（木）	15 名
	１月 26 日　（木）	11 名

（イ）おいでよぉ平川

19 名の地域サポーターが、ひらかわ会館において、高齢者の居場所づくりとなるサロンを開催した。また、「ひらかわ劇団」の活動においては、高齢者を取り巻く様々な被害を防ぐためアドリブを交えながら、分かりやすい防犯啓発を行った。

また、この地区に伝わる民話の伝承を取り入れながらの公演も行った。この活動は、平川地区だけではなく、市内、市外からも公演依頼があるため、積極的に公演活動を行っている。防犯啓発については、今後も高齢者にとって必要な情報提供を、菊川警察署安全課の御協力を得ながら実施していく。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
ひらかわサロン	６月７日　（火） ９月６日　（火） 12 月６日　（火） ３月 13 日　（月）	67 名 67 名 67 名 57 名
ひらかわ劇団の公演活動	12 回	―
平川地区みんなの交流会への参加	７月 17 日　（日）	―
ふるさと夏まつり小笠への参加	８月 14 日　（日）	―
平川会館まつりへの参加	11 月６日　（日）	―

ケ　嶺田地区

平成 25 年度より、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業により、みねだ地域づくり協議会の地域福祉・健康部会を地区社協と位置付けその中で、17 名の地域サポーター（サポーターみねだ）と民生児童委員等が中心となってみねだ会館を拠点に小地域福祉活動を展開した。

「地の神様で地域づくり」では、地域から参加者を募り地域間と世代間交流を行った。

また、作成した地の神様を地域のひとり暮らし高齢者宅へ民生児童委員とともに配布に伺い、見守り声かけ活動を実施した。

「みねだおげんき会」では、民生児童委員と協働で嶺田地区にお住まいのひとり暮らし（日中独居も含む）高齢者を対象に、高齢者サロンを 3 回実施した。サロンでは、レクリエーションや食事で楽しいひと時を過ごした。

「災害時にも使える福祉見守りマップづくり」では、地区社協のメンバーが自治会長や防災委員に参加を呼び掛け、地域で福祉的な見守り支援が必要な方を本人の同意に基づいて災害時に支援の必要のある方を確認し、自治会毎の見守りマップを更新した。

「地域福祉講演会」では、嶺田地区における地域福祉の学びの場として実施した。

「ふれあい節分」では、小さな子どもからお年寄りまで老若男女多くの方の参加により豆まきを開催した。また、「水ようおはなし会」による節分の寸劇やクイズ、レクリエーションにより楽しい時間の提供ができた。

「超気軽なＰＣ講座」では、高齢者を対象とし開催した。毎回約 15 人の参加者にワンツーマンで分かりやすい講座として好評いただいている。

「健康マージャンサークル」では、高齢者の居場所づくりとして今年度から開催した。

参加者は生きいきと楽しいひと時を過ごし、憩いの場としても提供することができた。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催	―
災害時にも使える福祉見守りマップ更新作業	７月３日（日）	63 名
介護予防講座（健康づくりは毎日の食事から）	７月 16 日（土）	48 名
みねだおげんき会（高齢者サロン）	３回開催	―
地の神様で地域づくり	11 月 12 日（土）	30 名
ふれあい節分	２月５日（日）	170 名
地域講演会	２月 11 日（土）	64 名
超気軽なＰＣ講座（高齢者エクセル講座）	３期間開催	―
健康マージャンサークル（高齢者サロン）	月２回開催	―

コ　小笠南地区

平成 26 年度より、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業により、みなみやまコミュニティ協議会の地域福祉部会を地区社協と位置付けその中で、25 名の地域サポーターが中心となってみなみやま会館を拠点に小地域福祉活動を展開している。

現在、「家事援助サービス事業」を実施しており、地域に住まわれる支援が必要な方に対する、家事における簡易な困りごとの支援を行った。

また、万一の救急時に救命作業を敏速に行うために備える、救急医療情報キット配布に努め、現在 93 セット配布し、地域普及活動に取り組んでいる。

さらに、地域の福祉情報やみなみやまの会の活動を掲載する「みんなみだより」の発行やみなみやま会館まつりで「地の神様づくり」を実施し、来場者への活動 PR を行った。

「地域福祉講演会」では小笠南地区における福祉に関する学びの場づくりとして、東海大学短期大学部 児童教育学科 教授 大石明利氏を講師に迎え実施した。

「出前サロン」においては、みなみやまゆうゆうサロンに来られない方をサポートするため、２地区において実施した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	12 回開催	―
出前サロン	６回開催	155 名
地の神様づくり	11 月　３日　（木）	36 名
家事援助サービス事業	42 件	―
ふるさと夏まつり小笠への参加	８月 13 日　（土）	13 名
正月飾りづくり	12 月 19 日　（月）	16 名
地域福祉講演会	３月　７日　（火）	56 名
安心・安全の集い	３月 19 日　（日）	９名
みんなみだよりの発行	毎月発行	―

サ　小笠東地区

平成 24 年度より、小笠東地区コミュニティ協議会のサポーター部会（小笠東地区社会福祉協議会）として、地域福祉推進基礎組織育成モデル事業のモデル地区となり、くすりんを拠点に小地域福祉活動を展開した。また、ふれあい広場やくすりん祭りへも協力し、出店した。

その他、平成 29 年１月からは、認知症予防講座にも取り組んだ。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	９回開催	―
災害時にも使える福祉見守りマップづくり	７月 24 日　（日）	35 名
福祉講演会	11 月 18 日　（金）	35 名
地の神様で地域づくり	11 月 27 日　（日）	30 名
くすりん豆まきの会	２月 11 日　（土）	200 名
おかえりなさいコール運動	毎月第２水曜日	―
認知症予防講座（平成 29 年１月～）	毎月第１・３水曜日	―

（３）ふれあい健康づくり

各地域において、レクリエーションができる指導者の育成、レクリエーション技術の演習を通じて、サポートできる実践者のスキルアップのためのレクリエーション講座を開催した。

開催日時

回	開催日	講師	参加人数
1	平成 28 年　５月　28 日（土） 午後１時 30 分～３時 30 分	ハートフル・レクリエーション 代表　和久田　一夫 氏	25 名
2	平成 28 年　６月　25 日（土） 午後１時 30 分～３時 30 分	静岡英和学院大学講師 音楽療法士　山田　美代子 氏	31 名
3	平成 28 年　７月　26 日（火） 午後１時 30 分～３時 30 分	居場所づくり研究所 代表　田井中　正志 氏	25 名
4	平成 28 年　９月 26 日（月） 午後１時 30 分～３時 30 分	居場所づくり研究所 代表　田井中　正志 氏	26 名

場所　菊川市総合保健福祉センタープラザけやき 201 会議室

（４）　地域巡回型介護レクリエーション予防出前講座

市内の各地区にある老人クラブ（単位老人クラブ）、地域サロンに対し、保健師と一緒に「65 歳からのロコモ予防講座～運動機能アップのために」と「脳リフレッシュ講座～認知予防のために」出前講座を実施した。

また、ふれあい健康づくり事業として、健康でいきいきとした生活を送るために、地域に出向き体操やレクリエーション等の健康予防講座を実施した。

さらに、高齢者のサポート活動をする上で必要なレクリエーション活動の取り組みをレクリエーション活動登録者（10 名）と共に地域に出向き実施した。

講座開催状況

	参加者	内　容
出前講座	530 名 （男性 154 名　女性 364 名 スタッフ 12 名）	活動的な生活を送るための健康体操
地域巡回型介護レク予防出前講座	425 名 （男性 37 名　女性 286 名 スタッフ 102 名	自宅でも気軽に実践できる健康体操 レクリエーション
レクリエーション活動登録者同伴　出前講座	365 名 （男性 43 名　女性 189 名 スタッフ 115 名 学童　18 名）	高齢者のサポート活動 レクリエーション

４　広報・啓発事業

（１）　広報活動事業

地域福祉推進への意識啓発を目的に「社協だより」「ホームページ」「ブログ」「市広報」等を通じ多面的に展開した。また、よりよい広報活動を展開するために、広報モニターを設け、それぞれにアンケート調査を実施し、アンケートやモニター会議で出された意見を参考にわかりやすい広報活動に努めた。

ア　社協だより　　発行回数　月１回　計 12 回　　発行部数　14,800 部/月

イ　ボランティアセンターだよりの発行

（ボランティアセンターの広報・啓発）

発行回数　月１回　計 12 回

発行部数　14,800 部/月

ウ　ホームページの運営及びブログによる情報発信

（２）　ふれあい広場

子どもも高齢者も、障がいを持つ人も持たない人もお互いが共に助け合い、一緒に生きていく喜びを感じられる住み良い菊川市を築くため、また、福祉について考えるきっかけづくりとするために開催した。運営委員会と実行委員会をそれぞれ３回開催し、協議を重ね、当日は実行委員団体やボランティア等の相互の協力により、随所でふれあいや笑顔が溢れるふれあい広場となった。

日　　時　平成 28 年 10 月 22 日（土）
　　午前９時 30 分～午後２時 30 分
会　　場　菊川市民総合体育館
参加団体　38 団体
参加人数　約 630 人（内関係者 約 300 人）

（３）　菊川市社会福祉大会開催事業

近年、私たちをとりまく環境は、困窮・貧困、虐待、孤立死、自殺、ＤＶ（家庭内暴力）被害、ひきこもりなど、なかなか解決には至らない深刻な福祉・生活問題が存在しており、既存の社会保障・社会福祉制度では十分に対応しきれていないことは多くの人が感じているところである。また、近年日本に各地で地震や集中豪雨などが頻発し、突然の自然災害に備え、防災対策の必要性がこれまで以上に認識され、地域住民による様々な取組みが行われている。

このように、誰もが安心していきいき暮らすことができる菊川市の実現に向けて、若者も高齢者も全ての人々が自助・共助・公助の下に持てる知恵と能力を結集し、地域力を高めるために開催した。

名　　称　平成 28 年度菊川市社会福祉大会
主　　催　菊川市社会福祉協議会
日　　時　平成 29 年２月 11 日(土・祝)午後１時 00 分～
会　　場　菊川文化会館アエル小ホール
参 加 者　210 名
内　　容　菊川市社会福祉協議会会長表彰
　　個人 18 名　１団体
　　菊川市社会福祉協議会会長感謝状贈呈　３団体
　　静岡県共同募金会会長感謝状贈呈伝達　２団体
―大会宣言可決―
講　演（テレビ寺子屋公開録画）
テーマ　『ネパールで教わったこと』
　　『いじめという言葉を知らないブータン』
講　師　山元　加津子　氏
　　（作家・エッセイスト）

（４）　精神障がい者組織化支援・交流事業

ア　グラウンドゴルフ・スカットボール大会
　（当事者交流）

近隣当事者の交流および組織化を支援するため、掛川市社協、御前崎市社協と共催で実施した。

日　　時　平成 28 年５月 26 日（木）
　　午前 10 時 30 分～午後２時 30 分
場　　所　掛川市総合福祉センター「あいり～な」
参 加 者　142 名
協　　力　あしたばの会、やすらぎ会
　　ジョイントサークルかたくり
　　菊川市・掛川市民生委員児童委員協議会
　　菊川市・掛川市・御前崎市内のデイケア、社会復帰施設
　　菊川市・掛川市・御前崎市福祉課

イ　精神障がい理解普及啓発交流事業「ふれあい企画」

若年層の精神障がいに対する理解を深めることを目的に、社会福祉法人Mネット東遠の協力において行った。

また、年間をとおして、水かけボランティア、社会福祉法人Ｍネット東遠と協力し、草取りや水かけを行った。

【第１回】
日　　時　平成 28 年６月 11 日（土）午前９時 30 分から午前 11 時 45 分
場　　所　社会福祉法人Ｍネット東遠きくがわ作業所、東名菊川インター
参 加 者　学生 19 名、総勢 50 名
内　　容　レンガアート
協　　力　社会福祉法人Ｍネット東遠、ＮＥＸＣＯ中日本
後　　援　菊川市

【第２回】
日　　時　平成 28 年 12 月３日（土）午前９時 30 分から午前 11 時 45 分
場　　所　社会福祉法人Ｍネット東遠きくがわ作業所、東名菊川インター
参 加 者　１回目：学生 15 名、総勢 40 名
内　　容　花植え
協　　力　社会福祉法人Ｍネット東遠、ＮＥＸＣＯ中日本
後　　援　菊川市

ウ　当事者交流会

菊川市内の精神障がい当事者の交流を深め、地域移行・地域定着の促進を図ることを目的に行った。

日　　時　平成 28 年 11 月 17 日（木）　午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
場　　所　プラザけやき　201 会議室
参 加 者　29 名

内　　容　スカットボールゲーム
協　　力　社会福祉法人Mネット東遠、菊川市立総合病院精神科デイケア、ジョブステイションしずおか、菊川市民生委員児童委員協議会、あしたばの会、西風の会

（５）　共同募金運動推進事業

ア　ふれあい広場会場にて共同募金運動の普及活動

イ　住民参加による共同募金配分

ウ　歳末たすけあい募金配分金事業

申請方式による配分金配布を行う歳末たすけあい募金配分金事業を施行している。お寄せいただいた歳末たすけあい募金を、一人暮らしの高齢者世帯や母子家庭など援助を必要としている世帯へ、「あたたかくお正月を迎えていただけるように」と配分した。

配分決定世帯　40 世帯

エ　歳末たすけあい募金助成事業

障害者自立支援法に規定する就労継続支援Ｂ型事業所（以下、事業所）の工賃が低く利用者の生活も大変であるという現状を踏まえ、歳末たすけあい運動の趣旨に基づき、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように、事業所に通う菊川市に住所を有する方と事業所に対し助成を行った。

事業所利用者　119 名　　事業所　５ヶ所

（６）　大規模災害被災時対応訓練

大規模災害発生時に備えて、「菊川市社会福祉協議会災害対策本部」を設置し、関係団体と協働して「災害ボランティア支援本部」の立ち上げと運営訓練を実施した。

例年どおり、１日目は「災害ボランティア支援本部」立ち上げのための会議と準備を行い、２日目は想定の下でボランティアのマッチングと派遣を行うことで、「災害ボランティア支援本部」の立ち上げと運営の流れ等を確認した。また、福祉教育の視点で大学生への参加を呼びかけ、災害に関する意見交換を実施した。

日　　時　１日目　平成 28 年８月 26 日（金）
　　２日目　平成 28 年８月 27 日（土）
会　　場　プラザけやき
参 加 者　129 名（関係ボランティア、市内福祉施設、民生委員児童委員、学生、各種団体、個人、行政職員、社協職員他）
訓練内容　・生活基盤整備訓練　（炊き出し・発電機設置等）
　　・「災害ボランティア支援本部」立ち上げ・運営訓練
　　・職員緊急連絡網使用訓練

（７）　権利擁護推進事業

成年後見制度の利用促進に関する方向性について、行政（福祉課・長寿介護課）との打ち合わせをし、今後の菊川市の成年後見制度推進について協議を行った。

日　時：平成 28 年８月 17 日（水）

（８）　菊川市慰霊祭（小笠地域）開催事業

小笠地区慰霊祭の開催。西南の役以来、各戦役事変により殉ぜられた御英霊 488 柱の慰霊祭を仏式にて執り行いました。

日　時　平成 28 年 9 月 13 日（火）午前９時 00 分～
会　場　菊川市民総合体育館
参列者　239 名
（祭主・主催者７名、ご遺族平川地区 24 名、嶺田地区 24 名、小笠南地区 18 名　小笠東地区 36 名、会員外 3 名、来賓 88 名、靖国和讃奉仕者 10 名、僧侶 12 名、社協職員 10 名　福祉課職員６名、写真ボランティア１名）

５　総合相談及び生活支援事業

（１）　福祉総合相談事業

複雑かつ多様化する福祉ニーズに応じた総合的な相談事業を実施し、来所及び電話相談を受け付けた。また、必要に応じて訪問による相談を行った。関係機関につなぐ相談が多くあった。

日　　時　月～金　午前８時 15 分～午後５時 00 分
場　　所　プラザけやき
相 談 員　社会福祉協議会職員（福祉総合相談員）
相談件数　　67 件　（平成 27 年度　67　件）

（２）　心配ごと相談事業

財産、家族、生計に関する相談が多くあった。弁護士無料相談や司法書士相談等を紹介した。

日　　時　毎月４回　原則１日、20 日　午前９時 00 分～正午
　　５日、15 日　午後１時 00 分～午後４時 00 分
場　　所　プラザけやき（１日、15 日）　市役所小笠支所（５日、20 日）
相 談 員　民生委員児童委員 12 名　人権擁護委員８名　行政相談委員２名
相談件数　40 件（平成 27 年度 51 件）

		平成 27 年度		平成 28 年度	
		プラザけやき	市役所 小笠支所	プラザけやき	市役所 小笠支所
相 談 件 数		29 件	22 件	31 件	9 件
処理 状況	解　　決	5 件	6 件	5 件	4 件
	再　　来	0 件	0 件	3 件	0 件
	民生委員	2 件	0 件	3 件	0 件
	他 機 関	12 件	3 件	16 件	3 件
	そ の 他	10 件	13 件	4 件	2 件

相談員研修会

① 日　時　　平成 28 年８月 26 日（金）　午後１時 30 分～午後３時 30 分
　会　場　　プラザけやき　201 会議室
　内　容　　講義「事例で考える身近な法律問題」
　講　師　　掛川総合法律事務所
　　弁護士　渡邉　純男氏

② 日　時　　平成 28 年３月 14 日（火）午後１時 30 分～午後３時 30 分
　会　場　　プラザけやき　201 会議室
　内　容　　講義「心配ごと相談員に求められる役割とは」
　講　師　　ふるい後見事務所　社会福祉士　古井　慶治氏

（３）　結婚相談事業

毎月２回の結婚相談日を設け、結婚相談所登録者からの相談に応じた。

また、月１回の定例会と年４回の四市一町結婚相談員連絡会においては、結婚相談員同士の情報交換や意見交換を行った。（菊川市、磐田市、袋井市、掛川市、森町）同時に各市町担当者間の連携を図り、よりよい結婚相談所の運営に努めた。

相談場所　プラザけやき
相談日時　毎月第１金曜日　午後６時 00 分～午後９時 00 分
　　奇数月は「女性のための結婚相談日」
　　毎月第３日曜日　午前９時 00 分～正午
相 談 員　10 名（１回の相談を２名で対応）
任　　期　平成 27 年９月１日～平成 30 年８月 31 日

相談実績

	平成 27 年度	平成 28 年度
	プラザけやき	プラザけやき
延開催回数	24 回	24 回
登録者数	88 名（男性 68・女性 20）	99 名（男性 77・女性 22）

	平成 27 年度	平成 28 年度
	プラザけやき	プラザけやき
相談日受付件数	190 件	182 件
相談日外活動件数	221 件	101 件
見合い設定件数	72 件	66 件
結婚成立件数	女性２名　男性１名	女性０名　男性２名
市結婚相談員連絡会	12 回	12 回
４市結婚相談員連絡会	４回	４回

（４）　生活福祉資金貸付事務及び相談支援

生活に困窮している世帯などを対象に、低利な資金を貸し付けることにより、世帯の経済的自立を支援した。

新規貸付件数

貸付資金種別		平成 27 年度	平成 28 年度
総合支援資金	生活支援費	０件	１件
	住宅入居費	０件	１件
	一時生活再建費	１件	１件
緊急小口資金		２件	１件
臨時特例つなぎ資金		０件	０件
福祉資金		１件	０件
教育支援資金		０件	３件
計		４件	７件

（５）　小口資金貸付事業

生活資金が一時的に欠乏し、生活が困窮状態にあると認められる者を対象に貸付を行った。

＜貸付件数＞

貸付資金種別	平成 27 年度	平成 28 年度
小口資金	４件	７件

※平成 28 年度新規貸付件数　４件

（６）　セーフティネット支援ネットワーク事業

地域において、既存制度では対応できない人、制度の狭間にいる人、生活困窮から必要なサービスを受けられない人及び重複した生活課題を抱える人等の支援を必要とする人々に対し、菊川市内の社会福祉関係機関が連携し、継続的な相談支援を行なうとともに、必要に応じて経済的援助を行ない、自立した生活を支援するためにネットワーク構築をし、会議にて事例検討を行った。

（７）　日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等自分ひとりで大切な事柄の決定をする

ことに不安を感じている人に対して、福祉サービスの利用援助や利用料の支払い援助等を行えるよう利用者、県社協そして本会との３者契約により生活支援員による支援サービスを提供した。

＜相談件数・利用者数＞

	平成 27 年度	平成 28 年度
相談件数	304 件	543 件
利用契約者	15 名	15 名

（８）　生活困窮者自立支援法による事業

ア　自立相談支援事業

生活困窮者からの相談を受け、生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握するとともに、ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定し、その計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整等をし、毎月支援調整会議を開催しました。

＜相談件数・利用者数＞

		平成 27 年度	平成 28 年度
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）		40 件	40 件
新規相談申込件数（本人同意ありのみ）		23 件	15 件
プラン策定前支援終了件数（初回スクリーニング時）		14 件	23 件
支援決定・確認件数(再プランを含む)		20 件	12 件
評価	終結	件	17 件
	再プランして継続	4 件	3 件
	中断	件	件

（９）「ひきこもり」問題に社会福祉施設・団体の連携での取り組み

「ひきこもり」支援における基礎的な知識や情報を共有化し、「ひきこもり」の問題を抱える当事者やその家族への具体的な支援を行った。

ア　ひきこもり・不登校無料相談会

元教育相談員、スクールカウンセラー４名の方が相談員として、ひきこもりや不登校の本人や家族からの相談に応じた。

また、毎月１回、相談員同士でケース会議を行い、支援方策等を出し合った。

相 談 件 数　79 件（平成 28 年４月～平成 29 年３月）

相談実人数　不登校相談　４名、ひきこもり相談　10 名、その他相談　８名

イ　学習会

日　時：平成 28 年９月 23 日（金）
午後１時 30 分から午後３時 30 分

場　所：プラザけやき 201 会議室

参加者：23 名

テーマ：「『親育て』が完了するとき」

講　師：菊池　恒氏（人間関係と心の相談舎　代表）

ウ　中間的就労の支援

ひきこもり、不登校の方のご家族に中間的就労支援の説明を行い、市内の社会福祉施設等の協力を得て本人の就労体験の場として受け入れをいただき、就労意欲を高めるために中間的就労の提供を支援した。

相談件数　18 件
就労体験利用者実人数　２名

６　福祉サービス事業

（１）　福祉有償運送事業

菊川市に在住するひとり暮らしで身体の不自由な高齢者、身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者で、移送手段を確保することが困難なため、医療、福祉施設等本人が希望するサービスの利用や外出等が困難な人に対して、福祉有償運送事業を実施した。

平成 28 年度　運行実績　（H27 実績　297 件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	36	24	44	22	24	18	16	15	18	9	16	18	260

（２）　特殊寝台貸出事業及び福祉用具貸出事業

福祉用具の貸与を行った。高齢者から若年者まで、幅広い年齢層で利用があった。地域包括支援センターや病院、ケアマネジャー等の関係機関からの問い合わせや紹介も多数あった。

≪年間利用実績≫

貸与機種	貸付台数	
	平成 27 年度	平成 28 年度
介護用ベッド	24 台	19 台
車椅子	105 台	130 台
リクライニング車椅子	1 台	1 台
シャワーチェアー	14 脚	11 脚
浴槽内イス	4 脚	3 脚
浴槽手すり	8 台	6 台
歩行器・歩行車	8 台	11 台
歩行杖	7 本	4 本
ポータブルトイレ	26 台	27 台
その他	2 台	1 台

（３）　福祉車両の貸出

公共交通機関を利用することが困難な歩行障がい者(車いす生活者、高齢者)の病院、施設への送迎及び社会参加の為に特殊車輌(スロープ、リフト付)の貸出を行い、83 名が利用された。

平成 28 年度福祉車輌貸出実績　（H27 実績　378 件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	34	34	33	38	32	25	29	36	33	40	37	43	414

（４）　視覚障がい者外出支援事業

菊川市内に居住する重度視覚障がい者が、菊川市身体障害者福祉会及び視覚障がい者部会の会議、旅行等の行事にて外出の際、障がい者から申請を受け派遣し、福祉の増進を図った。

総派遣人数　19 名（平成 27 年度　29 名）
総派遣時間　112.5 時間（平成 27 年度　153.5 時間）
重度視覚障がい者ガイドヘルパー登録者　　18 名

（５）　レクリエーション用具等貸出

市民が集う場がより楽しく交流できる場となるように、貸出用のレクリエーション用品（46 種類）を整え、貸し出しを行った。

今後も市民からの要望を取り入れ、より多くの方々に楽しんで頂けるようなレクリエーション用品の貸出しを行う。

平成 28 年度貸出件数　132 件（平成 27 年度実績　97 件）

７　補助金及び助成金交付事業

（１）　補助金等交付事業

ア　菊川市遺族会
イ　菊川市手をつなぐ育成会
ウ　菊川市身体障害者福祉会
エ　菊川市老人クラブ連合会

（２）　地域福祉活動等支援助成事業

菊川市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、地域で福祉活動や市民活動を実施しているボランティア・市民活動団体、先駆的・開発的な事業をおこなうグループなどに対し、共同募金の配分金を財源に予算の範囲内において、地域における福祉活動を支援することを目的に助成金の交付を行った。また交付対象者を厳正かつ公正に審査するため、本会評議員６名とオブザーバー１名（東海福祉専門学校講師 岡本一夫氏）による審査会を実施した。

助成団体　34 団体　2,607,000 円
（平成 27 年度　33 団体　2,515,000 円）

（３）　ボランティアグループ等助成事業

ア　宅配給食ひまわりの会
イ　菊川市手話通訳者協議会

（４）　菊川市民生委員児童委員協議会事務局

民生委員児童委員と連携をし、地域福祉の推進を図った。菊川市民生委員児童委員協議会（菊川市、菊川東地区、菊川西地区、小笠地区）事務局として、総会及び定例会等の運営支援を行った。

８　ボランティア活動の推進事業

（１）　ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動の一層の推進を図り、地域住民の地域福祉への参加を進めることは、お互いが支えあう地域社会を構築していくために欠かせないものである。

ボランティアの養成・研修を行い、ボランティア活動者の育成を図るとともに、一般住民への啓発、ボランティアの登録、需給調整、ボランティア活動の円滑な推進のための情報収集と提供、ボランティアグループや市民からの活動に関する相談受付、ボランティア相互の連絡調整等を行うことによりボランティア活動推進に努めた。

①　ボランティアの相談、登録、需給調整

＜実績＞

平成 27 年度	平成 28 年度
159 件	170 件

②　ボランティア保険加入促進

安心してボランティア活動に取り組むための保険について、社協だよりやホームページを活用し、広報や情報提供を行った。

ア　ボランティア活動保険（その他グループ、個人）　計 3,693 名
（保険金請求件数０件）
イ　ボランティア活動保険天災タイプ　計 70 名
（保険金請求件数０件）
ウ　福祉サービス総合保険　４件
（保険金請求件数０件）
エ　送迎サービス補償　２件
オ　ボランティア行事保険　19 団体　86 件

③　ボランティアグループの育成・支援

各グループの活動において、必要に応じて以下のような関わりを持った。

ア　外部からのニーズ（ボランティア参加や活動依頼等）とグループ間との調整を行った。
イ　ボランティアグループの行う事業に対し、外出運転ボランティア、演奏ボランティア等の調整を行った。
ウ　ボランティアグループにおけるボランティア募集の調整を行った。
エ　ボランティアグループの運営上の課題や問題に関する相談に応じた。
オ　ボランティアグループの研修先の連絡調整、研修の紹介を行った。
カ　ボランティアグループの活動について広報、ボランティアの調整を行った。
キ　必要に応じてボランティアグループの会議に参加した。
ク　活動資金、機材を必要とするグループに企業、財団等の助成金情報を提供した。

④　ボランティア連絡協議会「ゆう＆あい菊川」への支援

事業推進のための関係機関との連絡調整や情報提供を行った。

ア　理事会　　年６回開催

イ　総　会　　平成 28 年４月 14 日（木）プラザけやき　ボランティアセンター

ウ　交流研修会　平成 28 年８月 16 日（火）磐田市ボランティア連絡会との交流

エ　講演会（ボラ連とボランティアセンター共催事業）

平成 28 年９月 25 日（日）

オ　交流会　　平成 29 年２月４日（土）

⑤　児童生徒のボランティア活動

平成 23 年度開催の福祉教育推進会議を受け、菊川市教育委員会ボランティア活動支援センターと協働・協力し、５年目となる次の事業を行った。

ア　事前事後学習の推進

事前事後学習マニュアルを作成し、児童生徒のボランティア受け入れ先に対し、事前事後学習の実施を依頼した。

イ　ボランティア担当者会（主催：菊川市教育委員会）への参加

１回目　平成 28 年 4 月 22 日（金）

事前事後学習推進説明および依頼

２回目　平成 29 年 2 月 24 日（金）

事前事後学習実施報告

グループに分かれて情報交換

ウ　事後学習会「ボランティア学習会」の開催

日　時　平成 28 年９月 22 日（木・祝）

午後１時 30 分～午後３時 30 分

会　場　プラザけやき、中部デイサービス

内　容　講話「ボランティアについて」

講師　ボランティア連絡協議会理事

交流「高齢者と一緒にレクリエーション」

参加者　35 名

⑥　その他

ア　市内福祉施設・地域高齢者サロンへのボランティア(主に趣味を活かしたボランティア)の調整を行った。

イ　訪問傾聴ボランティア派遣事業を実施した。

ウ　個人登録ボランティアに、ボランティア募集の情報提供をし、活動に結びつけた。

エ　古切手・ベルマーク等の外部団体への送付・寄贈を行った。

（２）　ボランティア講座

ア　福祉有償運送運転者講習会

日　時　①平成 28 年６月 23 日（木）午前９時 30 分～午後４時 00 分

平成 28 年６月 24 日（金）午前８時 45 分～午後３時 30 分

②平成 28 年 10 月 19 日（水）午前９時 30 分～午後４時 00 分

平成 28 年 10 月 20 日（木）午前８時 45 分～午後３時 30 分

会　場　①町部地区センター
　　特別養護老人ホーム松秀園、菊川綜合自動車学校
②プラザけやき
　　特別養護老人ホーム松秀園、菊川綜合自動車学校
内　容　福祉有償運送運転に関わる講義および演習
講　師　東遠学園職員、和松会職員、草笛の会職員、ハートあんどハート菊川職員菊川綜合自動車学校職員、菊川市社会福祉協議会職員
参加者　①15 名（一般３名、施設職員 12 名）
②８名（一般７名、事業所職員１名）

イ　福祉施設等ボランティア担当者会議
日　時　平成 28 年７月 15 日（金）午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
会　場　プラザけやき
内　容　情報・意見交換
参加者　24 名（施設職員 13 名、ボランティア 11 名）

ウ　ボランティア講演会（ボラ連との共催事業）
日　時　平成 28 年９月 25 日（日）午後１時 30 分～午後３時 30 分
会　場　プラザけやき
内　容　講演「地域で支える認知症
～この街に住んでいて良かったと言える街にしよう～」
講師　外岡　準司 氏
参加者　43 名

エ　訪問傾聴ボランティア研修会
日　時　①平成 28 年８月 30 日（火）午前９時 30 分～午前 11 時
②平成 29 年２月 17 日（金）午前９時 30 分～午前 11 時 30 分
会　場　プラザけやき
内　容　①情報・意見交換
②講義「傾聴の基本」　講師　静岡福祉大学　西尾　敦史 氏
参加者　①18 名
②14 名

オ　３障がいで活動するボランティア講座
身体障がい、知的障がい、精神障がいといった障がい分野を問わず、活動できるボランティアを養成するため、担い手の少ない知的障がい者へのボランティア講座を実施した。

開催日　平成 28 年６月 20 日（月）
午後２時 00 分～午後４時 45 分
内　容　講義及び交流
参加者　６名
会　場　社会福祉法人草笛の会　法人本部
講　師　ふれんずつばさ　管理者補佐　瀧野　裕子氏

3　在宅福祉サービス事業

◎　高齢者福祉事業

Ⅰ　生きがい活動支援通所事業

○　いきいきサロン

菊川市内に居住する65歳以上の高齢者で、介護保険の要介護認定を受けていない者、介護保険の要介護認定において「自立」と判定された者で介護予防の必要な高齢者を対象とし、健康体操・レクリエーション・手工芸等の活動提供をすることにより、社会的孤立の解消や生きがいづくりと心身の健康増進を図った。

プラザけやき会場で火曜・水曜・木曜・金曜の週４日、東部ふれあいプラザ（潮海寺）会場で月曜・水曜・金曜の週３日開催をした。

≪　いきいきサロンけやき　≫

開催日時　　毎週火曜・水曜・木曜・金曜　午前10時00分～午後２時00分

会　　場　　プラザけやき

	平成27年度	平成28年度
	プラザけやき	プラザけやき
利　用　者　数	53人 男性（８） 女性（45）	71人 男性（12） 女性（59）
延　利　用　者　数	2,265人	2,297人
年　間　開　催　日	197日	197日
１日平均利用者数	11.5人	11.7人

≪　いきいきサロン東部　≫

開催日時　　毎週月曜・水曜・金曜　午前10時00分～午後２時00分

会　　場　　東部ふれあいプラザ（潮海寺）

	平成27年度	平成28年度
	ふれあいプラザ	ふれあいプラザ
利　用　者　数	36人 男性（０） 女性（36）	35人 男性（１） 女性（34）
延　利　用　者　数	1,079人	1,289人
年　間　開　催　日	145日	146日
１日平均利用者数	7.4人	8.8人

Ⅱ　生活管理指導員派遣事業

社会適応が困難な高齢者に生活管理指導員を派遣し、日常生活に対する指導と支援を行い要介護状態への進行の予防を図った。

	平成 27 年度	平成 28 年度
開 催 場 所	プラザけやき	プラザけやき
派遣世帯数	14 世帯	16 世帯
延派遣回数	425 回	526 回
延派遣時間	444.5 時間	551 時間

Ⅲ　高齢者配食サービス事業

高齢者のみの世帯で、調理が困難であり食事の提供が受けられない状況にある高齢者に対して食事を配達・回収し、食生活の改善と健康増進を図るとともに安否確認を行い在宅高齢者への見守り支援に努めた。

	平成 27 年度	平成 28 年度
延 配 食 数	911 食	713 食

Ⅳ　外出支援サービス事業

	平成 27 年度	平成 28 年度
延　　回　　数	4,552 回	4,624 回
移 送 （ 病 院 ）	22 回	14 回
生きがい活動送迎	4,530 回	4,610 回

Ⅴ　機能訓練事業

病気、怪我等によって心身の機能が低下している者に対し、日常生活の基本動作の維持のために、理学療法士の作成したプログラムに基づく機能訓練事業を行うとともに、訓練に関わる者同士の交流を図り社会参加の機会を確保することを目的とする事業であり、介護保険でフォローしにくい若い世代（40 歳以上 64 歳以下）に対応し、社協独自の事業として実施したが、今年度については利用者０名であった。今後、理学療法士とも利用者調整をしながら、必要性も含め検討していきたい。

○対象者

	平成 27 年度	平成 28 年度
対象者数	４人 男性（４） 女性（０）	０人 男性（０） 女性（０）

○日　時　　毎週月曜日　午前９時 00 分～午前 11 時 00 分

４　　菊川児童館

《平成 28 年度運営方針》

児童館は、18 歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身共に健やかに育成することを目的とする。この目的達成のため、気軽に来館できる雰囲気作りを職員一同心がけ、親子・大人・子ども同士の出会いと交流が自然にうまれる場となるよう努めた。

自由来館者を対象にした「にこにこタイム」では、親子体操・親子ふれあい遊び・手遊び歌遊び・絵本読み聞かせ・パネルシアター等を行い、子育てを楽しんでもらうよう開催した。異年齢の親子が、それぞれの成長に合わせた楽しみ方ができるよう、内容の充実に努めた。

新規利用者による来館促進を目的とする「ウェルカム！児童館」を月２回開催し、今年度はプレママさん（妊婦）にも参加を呼びかけ、親となる楽しみと安心を味わえるよう配慮した。参加することで職員や児童館をより身近に感じ、生まれたらスムーズに児童館利用につながるよう配慮した。

◎　年間利用者数

32,587　人　（前年度より 1,336 人減）

◎　利用時間

午前９時～午後４時 30 分

◎　休館日

日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始

《実　践　報　告》

（１）乳幼児親子対象事業

①　未就園児親子教室「ふれあいタイム（毎月の申込制）」

★ 作って遊ぼう（親子製作遊び）

月　　日	活　動　内　　容	参加者
４月 12 日(火) ４月 26 日(火)	牛乳パックでコロコロキューブ 牛乳パックでヒモ通し	０歳児親子　11 組 ２～３歳児親子　10 組
７月 13 日(水)	牛乳パックでうさぴょんぽっくり作り	２～３歳児親子　20 組
９月 29 日(木)	変身マント＆メガネを作って遊ぼう	２～３歳児親子　21 組
11 月 15 日(火)	紙皿でアンパンマンでんでん太鼓	０歳児親子　19 組
１月 26 日(木)	オリジナルスマホ作り	２～３歳児親子　８組
合　　計		89 組

（27 年度　３回　42 組）

★ リズムで遊ぼう（親子リトミック遊び）

月　日	活　動　内　容	参加者
4月28日(木)	ピアノや CD の音楽に合わせた親子でのリズム遊び・模倣遊び（講師:リトミックランドより２名）	０歳児親子　27組
5月12日(木)		０歳児親子　27組
6月2日(木)		２～３歳児親子　22組
6月16日(木)		０歳児親子　25組
7月7日(木)		２～３歳児親子　18組
9月15日(木)		０歳児親子　25組
10月6日(木)		２～３歳児親子　23組
10月20日(木)		０歳児親子　24組
11月10日(木)		２～３歳児親子　12組
12月1日(木)		０歳児親子　26組
合　計		229組

（27年度　10回　221組）

★ おはなし広場（絵本読み聞かせ講座）

月　日	活　動　内　容	参加者
6月15日(水)	絵本読み聞かせ講座 講師：水ようおはなし会	０～３歳児親子　31組
2月15日(水)		０～３歳児親子　23組
合　計		54組

（27年度　２回　47組）

★ わんぱく広場（親子で運動遊び）

月　日	活　動　内　容	参加者
4月19日(火)	アンパンマン体操、森の中で、握手でこんにちは、フラフープでフルーツバスケット、大型バス、風船遊び等	１歳児親子　25組
5月10日(火)	親子３B体操（ボール・ベル・ベルター遊び） 講師：水谷小枝さん	１歳児親子　17組
6月21日(火)	アンパンマン体操、森の中で、雨降りクマの子、大型バス、ボール遊び、はらぺこ青虫等	１歳児親子　19組
7月20日(水) 7月21日(木)	水遊び（デッキ部分に大小簡易プールを出しての水遊び）	１歳児親子　12組 ２～３歳児親子　7組
7月26日(火) 7月27日(水)		１歳児親子　12組 ２～３歳児親子　15組
9月27日(火)	親子３B体操（ボール・ベル・ベルター遊び） 講師：水谷小枝さん	１歳児親子　21組
11月29日(火)	ジャンプ遊び(リズムに慣れよう・いぬさんカエルさんになって・凸凹サーキット・音楽に合わせてぴょんぴょん)	１歳児親子　19組
12月20日(火)	タオルで遊ぼう(タオルでバス・お舟・ららタオル、タオルをキャッチ、そり遊び)	１歳児親子　12組
1月19日(木)	新聞紙で遊ぼう(手遊び・歌遊び、新聞紙を座布団に・太鼓に・ハンドルに・そりに等)	１歳児親子　13組
合　計		172組

（27年度　９回　163組）

★ 親子体験

月　　日	活　　動　　内　　容	参加者
５月 13 日(金)	親子で虫歯予防(講師：青野旬子さん)	０～３歳児親子 22 組
10 月 14 日(金)	菊川消防署見学 （講師：菊川消防署）	０～３歳児親子 24 組
10 月 18 日(火)	親子で交通安全 （菊川警察署の都合により、中止）	
２月 14 日(火)	親子で虫歯予防（講師：青野旬子さん）	０～３歳児親子 17 組
合　　計		63 組

（27 年度　４回　93 組）

② 水遊び

簡易プールによる水遊び。7 回実施し 73 組親子が参加した。

（27 年度　７回　78 組）

③ 園児親子教室「なかよしタイム」

月　　日	活　　動　　内　　容	参加者
９月 24 日(土)	英語となかよく(講師　鈴木美佐さん) 体を使って、親子で楽しく英語と触れ合いましょう。	15 組(30 人)
11 月５日(土)		13 組(27 人)
１月 28 日(土)	空手となかよく(講師　塚本真由佳さん) 親子で楽しく空手の正しい形、組手の基礎を学びましょう。	15 組(30 人)
３月４日(土)		13 組(26 人)
合　　計		56 組(113 人)

（28 年度の新事業）

（２）小中高生対象事業

① 小学生土曜クラブ

月　　日	活　　動　　内　　容	参加者
５月７日(土)	工作(母の日のプレゼント・お花紙でカーネーションアレンジメント)	24 人
６月４日(土)	工作（父の日のプレゼント・お父さん頑張れうちわ）	22 人
７月 16 日(土)	クッキング（ブラジル風おやつ　もっちりチーズパン）	34 人
９月 17 日(土)	工作（敬老の日のプレゼント・オリジナルティッシュボックス）	22 人
10 月 22 日(土)	クッキング（かぼちゃのクッキー）	29 人
11 月 19 日(土)	クッキング（カスタードトライフル）	31 人
12 月 10 日(土)	クッキング（ロールちゃんでブッシュドノエル）	31 人
１月 14 日(土)	工作（きくのんキャンティーボックス）	19 人
２月 25 日(土)	クッキング(雪のような口どけ・生チョコレート)	31 人
３月 11 日(土)	クッキング（もっちりふっくらどらやき）	29 人
合　　計		272 人

（27 年度　10 回　240 人）

② 小学生夏休み教室

月　　日	内　　容	参加者
7月29日(金)	親子クッキング　　講師：栄養士（星野真由美さん）	5組20人
8月5日(金)	～夏休みにぴったりの楽しい食事作り～	6組15人
8月16日(火)	工作（ヌラリと落ちるスライム時計）	28人
8月18日(木)	工作（癒しのおもちゃ・コムギン親子）	15人
夏休み期間中の火曜日～土曜日	日替わり工作(写し絵・アイロンビーズ・折り紙・ファンルーム・プラバン)　　＊プレイルーム開催時の2：00～3：00	149人
合　　計		227人

（27年度　142人）

③ 小中高生プレイルーム

【日時】土曜日・長期休暇（春休み・夏休み・冬休み）午後1時～午後4時30分
第2土曜日（おもちゃ図書館開館日）はお休み
長期休暇以外の平日の午後は、おもちゃの貸し出しを行った。

【内容】土曜日・長期休暇の地域の小・中学生の健全な遊び、仲間とのかかわりの場となるように卓球台、ビリヤード、キッカーボード、各種ゲームやおもちゃをそろえ、交流できる居場所づくりに努めた。11月より“ちょこっとタイム”として、2：00から3：00の間、簡単にできる工作(プラバン・手編み君)・ゲーム（ソリティア・知恵の板）を開催した。

【年間参加人数】　2,309人　（27年度　2,368人）

④ 高校生と赤ちゃんとの交流事業

【目的】高校生が赤ちゃんとのふれあいから自分の存在・家族のことを考え直し、自分の生命が両親から多くの愛情と慈しみを与えられていることを実感させたい。赤ちゃんの親にとっては、高校生に我が子の未来の姿を重ね合わせ、日々の子育てを振り返るきっかけになり、育児不安や虐待の予防につなげたい等、相互効果を期待し開催した

月　日	内　容	参加者
8月9日(火)	事前学習（プラザけやき　201会議室） 赤ちゃんの成長について(新生児抱き人形、妊婦体験ジャケット使用)・プレゼント工作(ガチャカプセルの芋虫)	高校生16人・先生2人 妊婦さん2人・幼児2人 職員(増田・鈴木)
8月10日(水)	職員による“手遊び・歌遊び・ふれあい遊び・お話しの世界”を乳児親子と楽しむ。乳児親子とのふれあい交流	高校生16人 乳児親子19組40人
合　　計		80人

（27年度　3回　101人）

（3）どなたでも参加の事業

① 自由来館

平日は乳幼児親子、土曜日や長期休暇は幼保育園児親子や小学生などが自由に楽しく安全に過ごす場の提供をしてきた。初めて来館した親子には館内の利用案内を丁寧に行い、“来てよかった、また来たい”と感じていただけるよう配慮した。平日の午後は、園児(年少児以上)対象におもちゃの貸し出しをした。

② にこにこタイム

【日時】毎週火曜日～木曜日（長期休暇を除く）午前 11 時 15 分～午前 11 時 45 分

・ 月１回「にこにこ工作」
・ 月１回「にこにこ誕生会」
・ 月１回「にこにこ交流会（中部デイサービス訪問）」

【内容】親子体操・手遊び・歌遊び・読み聞かせ等を通して親子や来館者同士のふれ合いを楽しんだ。子育て支援センターを含む職員 4 名の個性を生かした手遊びを取り入れ、親しみやすさ・個性をアピールした。「にこにこ工作」では季節に合った簡単な製作遊び、「にこにこ誕生会」では誕生月の子ども・保護者を来館者みんなで祝う活動、「三世代交流」では中部デイサービスを訪問し、利用者さんであるお年寄りと共に楽しいひとときを過ごした。

【年間参加者数】 1,729 組（27 年度 2,115 組）

＊にこにこ交流会（中部デイサービス訪問）を月 1 回に減らしたこと、インフルエンザ対策として 12 月・1 月・2 月の開催を控えたこと、来館者数が減ったこと等の理由が考えられる。多くの親子に楽しんでもらえるよう、内容を検討していきたい。

③ 特別企画

月 日	活 動 内 容（出演者等）	参加者
5 月 21 日(土)	子どものつどい （職員親子によるドレミの歌・パンダがいっぱい、小笠高校吹奏楽部による演奏会、きくのん登場、みんなでダンシングきくのん、プレゼント配布）	333 人
8 月 20 日(土)	夏のおたのしみ会 （お母さん中心の吹奏楽アンサンブル“ポコアポコ”によるコンサート）	100 人
8 月 25 日(木)	小中学生対象「夏休み特別教室」 （プロジェクションマッピング“桃太郎”、４班に分かれての“アンパンマン飛ばしゲーム）	35 人
10 月 29 日(土)	秋のおたのしみ会 （菊川吹奏楽団によるステージ、職員によるパネルシアター、ハロウィンのプレゼント・ちょこっとアイティムプレゼント）	164 人
12 月 24 日(土)	クリスマス会（グリーンシトラスによるクリスマス演奏会・職員によるパネルシアター・民生委員によるサンタクロースと福祉課職員によるトナカイ登場・ちょこっとアイティムプレゼント）	226 人
2 月 3 日(金)	ちびっこ節分 （みんなで踊ろう「オニのパンツ」・人形劇・豆作り・鬼退治・サンサン体操・ごほうび）福祉課 2 名による鬼登場	253 人
合 計		1,111 人

（27 年度 1,000 人）

④　ウェルカム！児童館　～ママのための情報交換会～

【対象】児童館利用が少ない方、ママ友を作りたい方、菊川市に転入してまだ日が浅く情報を知りたい方

月　日	活　動　内　容	参　加　者
４月 14 日(木)	① 子育てサポート“りぼん”さんによる読み聞かせ ② 手遊び・歌遊び・親子ふれあい遊び ③ 職員紹介 ④ 参加者自己紹介 ⑤ 児童館・子育て支援センターの利用案内・事業説明 ⑥ 菊川市タウン情報・子育て関係情報案内 ⑦ 座談会 ＊ 参加記念品とファイルをプレゼント ＊ ２回の参加で卒業とした ＊ 妊婦さんは何回でも参加可能	17 組
27 日(水)		10 組
５月 10 日(火)		９組
26 日(木)		10 組
６月 15 日(水)		８組
30 日(木)		10 組
７月 12 日(火)		13 組
９月６日(火)		10 組
23 日(金)		６組
10 月 13 日(木)		６組
27 日(木)		８組
11 月８日(火)		４組
24 日(木)		７組
12 月６日(火)		７組
１月 10 日(火)		２組
26 日(木)		７組
２月 10 日(金)		４組
23 日(木)		４組
３月７日(火)		７組
合　　計		149 組

(27 年度　112 組)

＊前年度より８回多く開催したため、37 組増加した。また、５名の妊婦さんも参加し、生まれてから児童館利用につながるケースが１組あった。“妊婦さんには情報が伝わりにくい”とのお話をいただいたので、市内スーパー（しずてつ・杏林堂）や病院(菊川病院・田宮こどもクリニック・松下産婦人科)に開催日のポスターを掲示した。

⑤その他

・きくのんぬいぐるみ贈呈式　６月 22 日(水)・・・50 組

・アエル合唱出前コンサート　６月 28 日(火)・・・60 人(いきいきサロン招待)

（４）相談支援事業

【内容】職員は来館者とのコミュニケーションを大切にし、気軽に声をかけやすい雰囲気作りに心がけた。相談内容に応じ、専門機関に引き継いだ。

（単位：件）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
来館	35	35	30	30	6	29	27	11	6	12	20	12	253
電話	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	4

（子育て支援センター事業相談件数と重複）

（５）支援事業

菊川おもちゃ図書館「あそぼ」

【内容】心身に障がいを持つ子ども達が、おもちゃを通して遊ぶ楽しさを知り、多くの仲間と出会うことによって生き生きと成長していくことを促す場である。児童館は、ボランティアグループおもちゃ図書館「あそぼ」の活動支援を行い、開館準備・運営・片付け等の支援を行なった。

【日時】月１回　第２土曜日　10:00～11:30　13:30～16:00（８月はお休み）

【年間利用者数】

子ども（内 障がい児）	大　人	ボランティア	合　計
177 人（72 人）	129 人	74 人	380 人

（27 年度　369 人）

（６）地域連携

①　中・高校生ボランティア受け入れ
　菊川市ボランティア体験活動受け入れ（81 人）
　おもちゃ図書館ボランティア受け入れ

②　職場体験学習受け入れ
　菊川東中学校（９月６日～９月８日）　　４人
　菊川西中学校（11 月 29 日～12 月１日）　４人

③　実習生受け入れ
　静岡福祉大学　１人（２/25・３/７）

④　施設見学受け入れ
　菊川東中学校施設見学　５月 11 日　26 人
　堀之内小学校施設見学　９月 21 日　74 人

⑤　子育て情報パンフレットコーナー設置

⑥　絵本の貸し出し・・・年間 78 人　253 冊
　図書室の絵本を貸し出し、家庭での読み聞かせや児童館利用の推進につなげた。

⑦　リユース掲示板設置
　不要になった育児用品を捨てずに、必要な人に使ってもらうことを目的とする。

⑧　みんなの広場（職員・来館者による情報提供の場　図書室ホワイトボード使用）

⑨　職員会議（月１回）
　小笠児童館・菊川児童館の月ごとの事業報告、確認事項の検討

⑩　菊川市社会教育課・ボランティア担当者会議参加（年３回）

⑪　菊川市社会教育課　放課後子どもプラン運営委員会（年３回）

⑫　菊川市健康づくり課・食育連絡会会参加（年３回）

⑬　菊川市健康づくり課・プレパパママサロン参加（年３回）

⑭　菊川市健康づくり課・要保護児童対策地域協議会　乳幼児部会（年２回）

⑮　菊川市福祉課・要保護児童対策地域協議会（月１回）

⑯　菊川市福祉課・児童館運営委員会（年１回）

⑰　菊川市社会福祉協議会主任者会議出席（月１回）

⑱　菊川市社会福祉協議会理事会・評議員会出席（年３回）

⑲　ひきこもり・不登校サポート支援への場の提供（月２回、月曜日の午後）

⑳　共同募金受配事業「お楽しみコンサート」・・・会場提供（11/１　114 人参加）

㉑　職員研修等

月　日	内　　容
5月17日(火)	静岡県おもちゃ図書館連絡会　総会・理事会　（静岡）
5月24日(火)	静岡県児童館連絡協議会　総会・研修会　（袋井）
6月25日(土)	森町児童館視察（プロジェクションマッピング）
9月29日(木)	静岡県児童館連絡協議会　児童厚生員研修会　（袋井）
10月14日(金)	静岡県児童館連絡協議会　館長研修会(児童相談所の状況と役割)
11月5日(土)	救急法講習会（ＡＥＤ使用方法、心配蘇生法）
11月24日(木)	静岡県西部地区児童館連絡会　実技交流会　（三ヶ日）
2月3日(金)	社会福祉協議会研修会（だから・・・もっとコミュニケーション）

（7）安全管理

①　安全点検・・・施設・固定遊具等の日常の安全点検と月一回の定期安全点検を実施、点検結果に応じ事後処置を講じるとともに、社会福祉協議会・福祉課に報告した。

①　安全指導・・・児童館でのルールや遊具の使い方等、事故防止のための指導を行った。入館者名簿は確実に記入していただき、帰宅する小学生・来館者親子には時刻を記入することをお願いし、来館者状況の把握を行った。園児は受付にて親子でのあいさつと名前を言うことをお願いし、ハイテンションによる事故防止に努めた。

②　安全対策・・・受付にて来館者チェック、初めての来館者への施設利用案内、日常的な見回りと声かけを実施した。災害対応マニュアルを作成し、事業開催中での避難訓練行った。非常時に備えて、救急用品の充実を図った。また、社協防災訓練に参加した。

平成 28 年度　菊川児童館　年間入館者数

（単位：人）

月 (日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	市外	組
4 月 (21 日)	263	778	206	26	0	957	2, 230	15	47	868
5 月 (18 日)	296	891	147	58	38	1, 115	2, 545	26	90	980
6 月 (22 日)	273	1, 365	165	9	6	1, 469	3, 287	48	87	1, 340
7 月 (22 日)	246	1, 210	317	57	5	1, 283	3, 118	49	109	1, 211
8 月 (21 日)	211	1, 130	553	143	45	1, 132	3, 214	17	111	1, 136
9 月 (21 日)	270	1, 200	254	30	0	1, 354	3, 108	17	65	1, 223
10 月 (20 日)	386	930	145	19	4	1, 266	2, 750	56	46	1, 160
11 月 (20 日)	292	884	179	50	0	1, 122	2, 527	52	58	996
12 月 (19 日)	174	916	265	47	3	1, 078	2, 483	18	36	893
1 月 (20 日)	208	795	203	9	0	889	2, 104	38	62	863
2 月 (19 日)	267	835	119	7	2	971	2, 201	38	36	938
3 月 (23 日)	299	1, 048	498	52	2	1, 121	3, 020	25	93	1, 111
合計 (248 日)	**3, 185**	**11, 982**	**3, 051**	**507**	**105**	**13, 757**	**32, 587**	**399**	**840**	**12, 719**
月平均	265	999	254	42	9	1, 146	2, 716	33	70	1, 060
1 日平均	13	48	12	2	0	55	131	2	3	51

5　　小笠児童館事業

《平成 28 年度運営方針》

児童館は、18 歳未満の全ての子どもを対象にした遊びおよび生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健全に育成することを目的とする。この目的達成のため、気軽に来館でき、いろいろな人と出会い、交流し、楽しめるよう雰囲気作り、居場所作りに心がける。

小学生の行事を一本化「小学生チャレンジＧＯ！」としてわかりやすいように精査する。「食育」「手作り」「季節の行事」「科学」「感謝」「競争」などとタイトルを決めて目的達成を図る。毎月のおたよりを小学生本人にもわかりやすい工夫として「小学生版」を発行する。また時間帯を比較的来館の少ない午前中に変更する。引き続き読み聞かせは小学生参加行事において計画し実行していきたい。長期休暇の一部分しか行わなかった行事だったが、毎週土曜日の午後と長期休暇中は毎日開催することにした。（水曜日は特例で開催する時もある）

◎　年間利用者数　　23,373 人　（ 昨年度より　　5,224 人減）

◎　利用時間　　午前９時～午後４時 30 分

◎　休館日　　日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始

《実　践　報　告》

（１）乳幼児親子対象事業

①　親子ゆうゆう教室（２クラス編成）（年間登録制の教室）

【対象】市内の１歳～就園前親子　水曜 30 組・木曜 28 組

【日時】毎月第３水、木曜日（４月・８月は除く）午前 10 時～午前 11 時

【目的】親子でふれあいながら、大勢の友達と一緒に楽しく遊んだ。

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月 18 日（水） 19 日（木）	こいのぼり制作 ふれあいあそび	55 組
６月 15 日（水） 16 日（木）	七夕様制作 フラワーペーパーであそぼう	49 組
７月 13 日（水） 14 日（木）	水あそび 〃	52 組
９月 14 日（水） 15 日（木）	みんなでお絵かき ボールあそび	47 組
10 月 13 日（木）	２クラス合同 遠足　　場所：菊川運動公園	44 組
11 月 16 日（水） 17 日（木）	幼児親子向けブックトーク 講師　三浦康子　氏	39 組
12 月　７日（水） ８日（木）	クリスマス会 （みんなでおしゃべり・飾り付け・サンタ登場）	43 組

１月 18 日(水) 19 日(木)	お正月あそび、(コマ・はごいた) きくのんの誕生日をお祝いする	 32 組
２月 15 日(水) 16 日(木)	修了（成長記録）色紙制作 館内をきれいに飾りましょう	 39 組
３月８日(水) ９日(木)	おたのしみ劇場　ゲスト　水ようおはなし会 〃	 39 組
合計 平均参加率		439 組 75.8%

②　ぴょんぴょんクラブ　(年間登録制の教室)

【対象】市内の１歳８ヵ月～就園前親子　24 組　(年間登録制の教室)

【日時】毎月１回木曜日（4 月・8 月は除く）　午前 10 時～午前 11 時

【目的】親子で体を動かすことの楽しさを味わった。

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月 12 日(木)	しげちゃん先生とあそぼう　講師	20 組
６月　２日 (木)	５月の復習とフープであそぼう	 21 組
７月　７日(木)	しげちゃん先生とあそぼう　講師	17 組
９月　１日(木)	７月の復習とカプラであそぼう	20 組
10 月 13 日(木)	遠足（菊川運動公園）	20 組
11 月 10 日(木)	しげちゃん先生とあそぼう　講師	17 組
12 月　１日(木)	11 月の復習とクリスマス会	18 組
１月　７日(木)	しげちゃん先生とあそぼう　講師	18 組
２月　４日(木)	１月の復習とまめまきあそび	18 組
３月　２日(木)	しげちゃん先生とあそぼう・修了式　講師	20 組
合計 平均参加率		189 組 75.6%

③リトミックランド　(半年登録制教室)

【対象】市内の１歳８ヶ月才～就園前親子（前期 19 組・後期 28 組）

【日時】毎月第４木曜日（４月・８月は除く）　午前 10 時～午前 11 時

【目的】親子でリズムに合わせて動くことの楽しさを味わった。

＜前期＞

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月 26 日(木)	ピアノや CD の音楽に合わせたリズム遊び、 模倣遊び。 親子でふれあいながら音楽を楽しむ。 講師　リトミックランドより各日２名	20 組
６月 30 日(木)		23 組
７月 21 日(木)		13 組
９月 29 日(木)		19 組
10 月 27 日(木)		18 組
合計 平均参加率		93 組 81%

＜後期＞

11 月 24 日(木)	ピアノや CD の音楽に合わせたリズム遊び、 模倣遊び。 親子でふれあいながら音楽を楽しむ。 講師　リトミックランドより各日２名	14 組
12 月 15 日(木)		18 組
１月 26 日(木)		18 組
２月 23 日(木)		20 組
３月 16 日(木)		18 組
合計 平均参加率		88 組 76.4%

④　水あそび

【対象】市内の１歳(お座りが出来る子)～就園の子

【日時】７月中旬～８月末日　(おおよそ毎日)

【目的】中庭ひろばにて（簡易プール使用）

【利用状況】毎日 10 組前後の親子が利用した

（２）小中高生対象事業

①　小笠児童館小学生ボランティアサークル　(年間登録制のサークル)

【対象】市内の小学生

【日時】概ね毎月１回（土曜日）　　午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分

【目的】出来ることから始めボランティア活動の楽しさや心地良さを味わった。

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月　７日(土)	はじめの会　　自己紹介と年間計画、 おもちゃの消毒	８人
6 月 25 日(土)	夏祭りのポスター　(NHK 取材)	６人
７月　９日(土)	おもちゃの消毒、デイサービス訪問の計画立て	８人
９月 10 日(土)	デイサービス訪問の練習、準備	６人
９月 17 日(土)	ＪＡデイサービス（読み聞かせ・昔の遊び・折り紙・合唱)	７人
11 月５日(土)	運動会の手伝い、赤い羽根共同募金活動	８人
12 月 28 日(木)	児童館の大掃除、お楽しみ（プラ板キーホルダー工作)	２人
１月　７日(土)	お正月あそびの準備手伝い、参加、片付け	７人
２月　４日(土)	チャレランの準備手伝い、参加、片付け	８人
３月　４日(土)	おつかれさま遠足　　場所　船岡山公園	８人
合計 平均参加率		68 人 85%

②　小学生体験活動（小学生チャレンジ GO！）

【対象】市内の小学生

【日時】毎月１回および夏休み期間中　午前 10 時～11 時 30 分

【目的】「食育」「手作り工作」「季節の行事」「科学」「感謝」「競争」など、色々な体験をする中で交友関係や自分の活動の幅を広める。

月　　日	活　動　内　容	参加者
４月 23 日(土)	味噌作り（菊川市出前講座） 講師　星野真由美・武藤有美子両栄養士 くすりんにて	10 人
５月　７日(土)	母の日のプレゼント作り	11 人
６月 18 日(土)	父の日のプレゼント作り	13 人
７月　２日(土)	和菓子作りに挑戦 講師　たこまん和菓子職人　橋本好造氏 くすりんにて	15 人
８月　６日(土) 20 日(土)	親子豆腐作り（菊川市出前講座） 講師　星野真由美・武藤有美子両栄養士 ひらかわ会館およびくすりんにて	14 組 35 人
８月 17 日(水) 18 日(木)	夏休み手づくり教室 （びっくり箱、ランチョンマット）	22 人
９月	ウォターバトル計画だったがデッキ工事のため中止	
10 月 22 日(土) 29 日(土)	ハローウイングッズ作り ハローウインパーティー	21 人 35 人
11 月 19 日(土)	クリスマスツリー作り	12 人
12 月 24 日(土)	クリスマスパフェ作り 指導　子育て支援センター職員 くすりんにて	39 人
１月 28 日(土)	サイエンス教室　講師　西村秀晃氏	24 人
２月　４日(土)	チャレンジランキング	19 人
３月　４日(土)	クッキング（4 月に作った味噌を使ってのお料理） 講師　星野真由美栄養士 くすりんにて	13 人
合計		267 人

（H27 年度参加者　159 人）

★H28 年度重点目標として行ってきた。小学生の行事を１本化「小学生チャレンジ GO!」とし、わかりやすく、安全に行えるよう、会場もあつまれひろばを使い、人数も多く募って行った。現代の子ども達のニーズをキャッチし、より興味のある物を提案したい気持ちで新しいことにもチャレンジした。参加した子ども達からは「面白かった」「楽しかった」という声は聞けたが、なかなか広がらないのが残念だ。開催日を前年度より多く設定した結果、約２倍の参加者がいた。

③　小中高生デイ

【対象】市内の小中高生

【目的】いろいろな人と関わりを持ち、遊びやふれあいを楽しんだ。

【開催日】土曜日・長期休暇（春休み・夏休み・冬休み）

午後１時 15 分～４時 30 分

学校が短縮日課で、小中生が多く来館した場合は状況により開催した。

(H28 年度参加人数/1,424 人)

(H28 年度６月より毎土曜日、長期休暇と固定しての開催)

*土曜日のみ「工作タイム」(13:30～15:30)を実施

④　中高生ボランティア活動

【対象】市内の中高生

【目的】いろいろな人と関わりを持ち、ボランティア活動を楽しんだ。

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月 28 日(土)	頭と心と体の講座(フラワー*スタンド作り)の託児	中学生４人
７月 23 日(土)	小笠児童館夏まつり	
７月 27 日(水)	頭と心と体の講座(万華鏡作り)の託児	中学生８人
８月 23 日(火)	中高生体験活動（クッキング（スイーツ作り））	高校生１人 大学生１人
10 月 29 日(土)	小学生チャレンジ GO！ (ハローウインパーティー)	中学生６人
11 月　５日(土)	みんなみんなよっといで運動会	中学生１人
１月　７日(土)	特別企画「お正月あそび」	中学生４人
２月　４日(土)	小学生チャレンジ GO！ (チャレンジランキング)	中学生１人
合計		26 人

⑤　中高生体験活動

【対象】市内の中高生

【目的】いろいろな人と関わりを持ち、クッキングを楽しんだ。

月　　日	活　動　内　容	参加者
８月 23 日(火)	中高生クッキング（スイーツ作り） 講師　小笠原泰子　　くすりんにて	８人

（３）どなたでも参加事業

① 自由来館

午前中は乳幼児親子、午後や土曜日・長期休暇時は幼稚園親子や小学生などが中心に自由に過ごす場の提供をしてきた。幅広い異年齢の子ども達また保護者が一緒に過ごせるように声をかけたり、デイ開催時は乳幼児の出入り制限や相談室を小学生に開放したりして安全に注意しながら遊びの場所を提供した。職員が目を配りながら遊びを楽しんだ。

② 移動児童館“よっといで”

【対象】どなたでも参加

【日時】毎月１回土曜日（年間 12 回）　午前 10 時～午前 11 時

【目的】屋外で思いっきり遊んだり、幅広い年齢層で子ども達とのふれあいを楽しみ、異年齢集団での遊びを楽しんだ。また地区センターにも行くことで色々な地区の人に児童館を知ってもらう機会にした。

月　日	内　　容	会　場	参加者
４月 16 日(土)	自由あそび（おもちゃ、縄跳び、ボール、運動用具）シャボン玉、おみやげゲット競走	セントラルパーク	49 人
５月 14 日(土)	自由あそび（ボール・フープ・長縄・他）じゃんけんゲーム	セントラルパーク	17 人
６月 25 日(土)	自由あそび、手遊び、コラボあそび ぴょんぴょんカエル工作、飛ばしっこ競争	小笠児童館	57 人
７月 16 日(土)	自由あそび、手遊び、読み聞かせ、ママトーク、金魚すくいの金魚工作	東地区センター くすりん	４人
９月　３日(土)	自由あそび、手遊び、ママトーク、読み聞かせ・金魚すくいの金魚工作	南地区センター みなみやま会館	６人
10 月 15 日(土)	自由あそび（ボール・フープ・縄跳び）シャボン玉、読み聞かせ	児童館中庭ひろば	17 人
11 月　５日(土)	特別企画「月と星をみる会」とコラボ企画	駐車場	50 人
１月 14 日(土)	お正月あそび（コマ、はごいた）コマの工作	嶺田地区センター みねだ会館	４人
２月 18 日(土)	自由あそび、手遊び、歌遊び、おしゃべり 飛行機を作って飛ばそう	南地区センター みなみやま会館	10 人
３月 18 日(土)	自由あそび（電車ごっこ、フープ、縄跳び、竹とんぼ、シャボン玉）おみやげゲットジャンケン	セントラルパーク	37 人
合計			251 人

（H27 年度参加者数　375 人）

③ おはなしタイム

【対象】どなたでも参加

【日時】毎月１回　午後 15 時 30 分～15 時 45 分

【目的】午後のひととき、幼稚園生や小学校低学年生が友だちと一緒に読み聞かせを楽しみ、最後に折り紙で季節を感じる。

月　　日	活　動　内　容	参加者
４月 22 日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「かぶと」	８人
５月 27 日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「こぶた」	11 人
６月 24 日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「アイスクリーム」	９人
７月 15 日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「ペンギン」	13 人
８月 15 日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「おばけ」	27 人
９月 30 日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「恐竜メダル」	27 人
10 月 30 日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「リかぼちゃのステッキ」	13 人

11月25日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「クリスマスオーナメントスタンド」	10人
12月16日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「ししまい」	16人
1月27日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「おにのスタンド」	16人
2月24日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「めびな・おびな」	23人
3月18日(金)	絵本の読み聞かせ・折り紙「みつばち」	10人
合計		183人

(H27年度参加者数　223人)

★毎回2冊を目標に読み聞かせに取り組んだ。また、お土産としての折り紙にも力を注いだ。小学生の参加も増え毎回楽しみに来てくれた。とても興味深く集中して聞いてくれた。大きくなっても読んでもらう機会やいろいろ本にふれることは情緒面の育ちとして大切だと思う。

④　特別企画

【内容】多くの人たちの中でいろいろな体験を通し、ふれあいや関わり、交流を持つことにより楽しい思い出となった。

月　　日	活　動　内　容	参加者
4月　9日(土)	新1年生いらっしゃ～い（児童館の使い方・ゲーム）	16人
7月23日(土)	夏祭り（オープニングショー（ダンスショー） きくのん参加、お店屋さん開店、抽選会）	1,113人
9月30日(金)	アエル合唱受講生コンサート ゲスト　アエル合唱受講生	34人
11月5日(土)	みんなみんなよっといで運動会　　小笠体育館にて	116人
11月5日(土)	月と星を見る会　　講師　池田　登氏	50人
11月26日(土)	人形観劇会　　ゲスト　劇団わにこ わにこの赤ずきんちゃん、紙芝居、人形で遊ぼう　他	71人
12月10日(土)	クリスマス会 （ハンドベル演奏・手遊び・クリスマスショー「カラフルパレットコンサート」） ゲスト　カラフルパレット	178人
1月　7日(土)	お正月遊び　　協力　NPO 法人里山再生クラブ	52人
合計		1630人

(H27年度参加者数　1263人)

⑤　絵本の貸し出し事業

・貸し出し延べ人数　228人　(H28年度　367人)

・貸し出し冊数　　839冊　(H28年度　記録なし)

・開館している時はいつでも借りることができたので喜ばれた。毎週借りていく方もいた。

・活動の中や絵本の講座などで“親子で絵本を楽しもう！”と提案したり、その

時季のお奨めの本や活動の中で読んだ本などを目立たせて置くようにして紹介した。
・毎年新しい本も購入し蔵書を増やしている。
・図書の整理をしたことで利用者に喜んでもらった。

⑥　はじめまして！児童館
【対象】引っ越してきた方・あまり利用したことがない方・児童館を知りたい方
【日時】月１回　午後 10 時～11 時
【目的】越してきたばかりで友だちがいない方や児童館をあまり利用したことがない方、一人で来館しにくい方に児童館の事をいろいろお知らせしたり、みんなでおしゃべりすることで来館しやいように開催した。

月　　日	参加者
４月　６日(水)	４組４人
５月 17 日(木)	１組　２人
６月　１日(水)	１組　２人
７月　１日(金)	４組 10 人
８月　４日(水)	４組　８人
９月 13 日(水)	１組　２人
10 月　４日(火)	３組　５人
11 月１日(水)	６組 13 人
12 月 13 日(火)	４組　８人
１月６日(水)	０組　０人
２月１日(火)	３組　６人
３月１日(火)	４組　８人
合計	35 組 68 人

（H27 年度参加者　47 人）

★今年度も午前の時間帯で行った。
引っ越しをしてきた方、子どもを連れて出ることができるようになった方、子どもと家に閉じこもっていたけれどちょっと覗いてみようかと思った方、利用しているが一度活動の話を聞きたいという方などいろいろな理由があり参加してくれた。
活動の説明だけでなくいろいろな菊川周辺の情報を話したり、他県出身者の方からはその県の話をしてもらったりと話題提供や雰囲気作りに心がけた。
何かしらの繋がりで子育ては一人じゃないよとアピールし、また少しでも子育てが楽しめるよう工夫した。

⑦　おもちゃ病院
【対象】児童館利用者どなたでも
【日時】（７月からの開始）10:00～11:30
【目的】壊れたおもちゃの修理を通してモノを大切に扱うことを学び、修理をしてくれる人とのふれあいを大切にする。

月　　日	参加者
7月30日(土)	19組(27体)
8月26日(土)	20組(33体)
9月24日(土)	7組(10体)
11月18日(金)	4組(4体)
1月17日(火)	9組(14体)
2月25日(土)	11組(15体)

（4）相談支援事業

① 子育て相談業務

子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また来館者に積極的に声を掛け、多くの見守りの中での子育てを感じてもらえるように配慮した。

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	15	15	20	23	9	16	19	22	19	14	19	14	205
電話	0	2	2	3	0	1	0	0	1	3	1	3	16

（子育て支援センター相談件数と重複）

（5）支援事業

地域の子どもたちが健やかに育つことを願いボランティア活動や仲間作りをしているグループの育成支援。

① 菊川市みらい子育てネット母親クラブの育成・支援

・「小笠南地区のいちご会」

小笠南小学校区を拠点に活動を進めている。児童福祉週間活動として市の委託を受け5月21日に「親子のつどい」を行った。また会員相互の活動、地区全体の活動など幅広く活動した。

（6）地域連携事業

“子育ては地域ぐるみで”を念頭にいろいろな機関、人たちとの連携を深めてきた。

① 中高生ボランティア受け入れ　26人　（詳細は別頁に記載）

② 中学生職場体験受け入れ

菊川市西中学校　（11月29日～12月1日）２人×３日間

菊川南陵高校　（５月～２月）　３人×９日間

③ 実習生受け入れ

静岡福祉大学　１人×２日間

④ 施設見学受け入れ

教職員新採用研修　（４月28日）10人

小笠東小学校２年生　（９月16日）　６人

小笠北小学校２年生　（11月11日）　51人

⑤ 乳幼児用品リユースマーケット開催（５/13・10/21）及びリユースコーナー設置

⑥ 館内飲食可能な日“お弁当の日”実施　おしゃべりルームにて（毎週火曜日・木曜日）

⑦ 子育て情報コーナー開設（職員による情報提供）

⑧　職員会議
　両館にて交互に開催　月ごとの事業報告と検討・確認
⑨　菊川市社会教育課　ボランティア担当者会議参加(年３回)
⑩　菊川市社会教育課　子ども読書活動推進協議会参加(年２回)
⑪　菊川市健康づくり課　要保護児童地域対策協議会の乳幼児部会参加(年２回)
⑫　菊川市健康づくり課　食育連絡会参加(年３回)
⑬　菊川市健康づくり課　プレパパママサロン参加(年３回)
⑭　菊川市健康づくり課　療育教室参加(年１回)
⑮　菊川市福祉課　要保護児童地域対策協議会の要保護児童部会参加(年 12 回)および研修会(年１回)
⑯　菊川市社会福祉協議会主任者等会議出席(月１回)
⑰　菊川市社会福祉協議会理事会・評議委員会出席(年３回)
⑱　職員研修会参加

月　　日	内　　容
５月 24 日(火)	静岡県児童館連絡協議会　　総会および研修会
７月～８月	近隣児童館夏祭り視察(５カ所)
８月 26 日(金)･27 日(土)	菊川市社会福祉協議会職員研修会防災訓練参加
９月 29 日(木)	静岡県児童館連絡協議会　　厚生員研修会　講話
10 月 14 日(金)	静岡県児童館連絡協議会　　館長研修会
11 月 11 日(金)	静岡県ふじさっこ子育てフェスタ　授賞式
11 月 24 日(木)	静岡県西部地区児童館連絡協議会　実技研修会
H29 年１月 26 日(木)	静岡県西部地区児童館連絡協議会　絵本とあそび方研修会
２月３日(金)	菊川市社会福祉協議会職員研修会　コミュニケーション

⑲　他の機関とのつながり
・更生保護女性会よる託児協力
・民生児童委員ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ（夏祭り・運動会）
・みらい子育てネット母親クラブ協力（親子のつどい・児童館夏祭り）
・子育てサポートりぼん読み聞かせ協力、参加および当会の総会参加
・児童館だより等配布
（各小学校・幼稚園・保育園・自治会回覧・各施設の情報コーナー）

（７）安全管理

①　安全点検
・施設、固定遊具、玩具などの日常点検と職員による月１回の安全点検と業者による点検(年２回)を行った。
点検結果により随時適切に事後処理を行った。また内容によっては社協および福祉課に対応してもらった。
・毎日の掃除の中で危険個所やこわれた玩具などの点検も行った。

②　安全指導
・児童館でのルールや遊具の使い方など事故防止のための指導を繰り返し行い、子どもたちに安全に遊べるための意識を身につけていくようにした。
・狭い館内ではすべりやすい所やささくれもあり、安全に遊べるように呼びかけ

た。また、小中高生デイ時は卓球・ビリヤード台・サッカーゲームを出す時は職員が必ず一緒に用意した。開催時間帯はその場所に滞在して遊びを見守った。（安全面確保のため乳幼児の立ち入りを制限した）

・非常口通路の確保ができる様に靴はくつばこに。また廊下や室内に荷物や物を置きっぱなしにしないよう整理整頓に心掛けた。

・防災訓練を実施する中で来館者に非常口と避難場所の確認をしてもらった。

・流行性の疾病が発生した時は、おたより等でうがいや手洗いなどを呼びかけたり、病気の時は児童館への来館を控えるなど館内にポスターを掲示し注意を促した。また来館を控えてほしい子が来た時は事情を説明して納得して帰ってもらった。

③　安全対策

・挨拶を交わしあうことで不審者対策をした。受付にて来館者名簿に記入してもらいチェックをし、日常の見回りと声掛けを実施した。未就園児に対して名札の着用を始めた。

・初めての来館者には懇ろに施設利用案内を説明した。

・非常時に備え、常日頃の訓練が必要なので事業開催時に突発で避難訓練を実施した。

・来館状況の把握が確実にできるように来館者全員に帰る時刻を書いてもらった。

・災害時の対応について、おたより等で知らせたり館内に掲示して周知してもらうよう努めた。

・地震に備え、卓球台・ビリヤード台・サッカー台などは使わない時は安全ベルトで固定している。非常口通路の確保ができる様に館内の整理整頓に心掛けた。

・地域で流行性の疾病が発生した時は常に消毒液を受付に用意し流行感染を予防している。

・感染した子は完全に治るまで来館を控える様にお願いした。

平成28年度　小笠児童館月別入館者数

（単位：人）

月(日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ボランティア	(市外)
4月 (21)	150	646	433	84	11	760	2,084	(0)	(144)
5月 (18)	129	634	161	76	3	716	1,719	(25)	(171)
6月 (22)	161	687	261	39	0	798	1,946	(6)	(257)
7月 (22)	248	1,024	567	90	4	1,654	3,587	(64)	(254)
8月 (21)	107	818	434	109	15	794	2,277	(2)	(431)
9月 (21)	201	743	145	11	5	821	1,926	(23)	(185)
10月(20)	200	616	134	18	5	765	1,738	(39)	(157)
11月(20)	178	660	261	28	3	748	1,878	(9)	(154)
12月(19)	136	495	236	19	6	554	1,446	(5)	(137)
1月 (19)	120	487	171	23	3	490	1,294	(17)	(127)
2月 (19)	103	515	129	6	5	559	1,317	(11)	(150)
3月 (23)	148	798	435	45	4	731	2,161	(8)	(238)
合計(245)	1,881	8,123	3,367	548	64	9,390	23,373	(199)	(2,405)
月平均	157	677	280	45	5	783	2,012	(16)	(200)
1日平均	7.8	34	14	2	0.2	39	103	(1.3)	(10)

6　きくがわ子育て支援センター「たんぽぽ」

子育て家庭（これから子育てを始める家庭を含む）に対する育児支援を行ない、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。

安心して子育てができるように子育て親子間の交流を深める活動、子育てに関する相談や援助等を実施した。

《実　践　報　告》

（１）子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

①自由来館

親子で遊んだりママ友達と情報交換をしたりして、自由にゆったりと過ごす場を提供した。幼稚園・保育園時児（３歳以上）には、小学生用貸し出しおもちゃの一部を提供し、遊びの幅を広げるよう配慮した。

②０歳児親子教室「はじめの一歩」

【対象】０歳児親子（コンサートは兄姉参加可能）

【内容】はじめての子育てを、子どもとのふれあいや友達になった親子との交流を通して楽しむとともに、友達づくりや親の情報交換の場となるよう行った。

開催日	活　動　内　容	参加人数
４月　６日(水)	親子ふれあいヨガ(講師：越水律子さん)	29 組(53 人)
５月 11 日(水)	童謡コンサート(講師：こすもすさん)	14 組(29 人)
６月　１日(水)	親子ふれあいヨガ(講師：越水律子さん)	26 組(53 人)
７月　６日(水)	童謡コンサート(講師：こすもすさん)	24 組(54 人)
９月　７日(水)	親子ふれあいヨガ(講師：越水律子さん)	24 組(49 人)
10 月 12 日(水)	童謡コンサート(講師：こすもすさん)	12 組(32 人)
11 月 30 日(水)	童謡コンサート(講師：こすもすさん)	19 組(47 人)
１月 25 日(水)	親子ふれあいヨガ(講師：越水律子さん)	21 組(43 人)
２月　８日(水)	ミニコンサート、軍手人形作り(講師：こすもすさん)	12 組(27 人)
３月　８日(水)	親子ふれあいヨガ(講師：越水律子さん)	24 組(50 人)
合　　計		205 組(437 人)

（27 年度　203 組　422 人）

③多胎児親子教室「ふたごちゃん、こんにちは!!」

【対象】多胎児親子、妊婦さん

【内容】多胎児をもつお母さんや家族・妊婦が交流し情報交換をする中で、悩みや不安を少しでも減らし、感動や喜びを増やす場となるよう支援した。

【協力】更生保護女性会　（毎回５人位）

開催日	活　動　内　容	参加人数
５月 24 日(火)	うちわ作り、フリートーク、リズム“まねっこピーナッツ”、パネル“ナッツの大冒険”	２組(11 人)

7月15日(金)	リズム“エビカニクス”、手遊び“魚が跳ねて”、魚釣り遊び　　講師　水ようおはなし会	2組(15人)
9月21日(水)	お店屋さんごっこ（ふたごちゃんの参加はないので、一般の親子に参加してもらう） 講師　水ようおはなし会	多胎児0組 一般12組(35人)
1月24日(火)	読み聞かせとスタンプラリー（ふたごちゃんの参加はないので、一般の親子に参加してもらう） 講師　水ようおはなし会	多胎児2組 一般13組(38人)
3月15日(水)	おはなし、ミニコンサート、エアポリン（ふたごちゃんの参加はないので、一般の親子に参加してもらう） 講師　水ようおはなし会	多胎児2組 一般12組(41人)
合　　計		多胎児8組 一般37組

(27年度　多胎児39組)

④親子で遊ぼう「わくわくパーク」

【対象】1歳6か月児以上(内容により“歩ける子”の場合あり)

【内容】親子共に身体を動かし、運動の基礎を学びながらふれあい遊びを楽しんだ。

また、遊びを通して、子育てには父親参加の大切さを学んだ。

開催日	内　　容	参加人数
5月14日(土)	パパと遊ぼう(講師:じゅんちゃん先生)　堀之内体育館	23組(73人)
6月18日(土)	パパと遊ぼう(講師：大場義貴さん)　堀之内体育館	22組(65人)
7月12日(火)	みんなで水遊び(注意事項の確認・リズムエビカニクス)	18組(39人)
9月20日(火)	親子運動遊び・環境設定をしよう(講師：大場義貴さん)	20組(44人)
10月25日(火)	親子運動遊び(講師：大場義貴さん)	24組(54人)
11月26日(土)	パパと遊ぼう(講師：大場義隆さん、じゅんちゃん)	19組(59人)
2月28日(火)	親子運動遊び(講師：大場義貴さん)	20組(43人)
合　　計		146組(377人)

(27年度　134組　355人)

(2)子育て等に関する相談、援助の実施

(ア)　子育て相談業務

子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また来館者に積極的に声掛けをして話しやすい雰囲気をつくるよう配慮し、何気ない会話の中から子育てに対する不安が少しでも楽になるよう努めた。

＜相談件数＞

(単位：件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	35	35	30	30	6	29	27	11	6	12	20	12	253
電話	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	4

(児童館相談件数と重複)

＜相談内容＞

・ 発育不安

（1歳児、子供の成長が遅くて何もできないことに腹が立つ。食への意欲のなさが心配である。お座りはできずにハイハイはするが、これでいいのか？6か月児、子供の便秘が心配である。2歳半、言葉が出てきません。おしり・腕などに湿疹ができているが、病院に行ったほうがいいのか？）

・ 育児不安

（睡眠時によく動くが、どのように寝かせるといいのか。離乳食のバラエティーが少ないが、皆さんはどのようなものを食べさせているのか知りたい。生後3週間、自分が高齢出産のため発育が心配。1歳児、卵アレルギーの診断を受け、ショックです。）

・ 家庭での心配事

（2～3年後に夫の実家で同居予定となっているが、食事・風呂・トイレ等すべて一緒の完全同居は大丈夫か？　義理の姉の子育てが心配だが、身内は問題にしたくないようで動こうとしない。学区外の幼稚園に行くことは子供にとって良くないことなのか。自分用の車がないので、どこにも出かけられずにママ友ができない。主人はタイに住んでいるため、行ったり来たりの生活だが、子供にとっていいことなのか？）

・ 園での心配事

（幼稚園入園に当たり、自分に似てガミガミいう先生が担任になったらこの子にとっていいことなのか不安である。自分が勤務する園に子供を入園させることを勧められたが、それでいいか。1歳児、補聴器をつけているが園での生活は大丈夫か。）

・ その他

（中2の娘の母親、学校でのいじめ・嫌がらせ問題は解決したと思われるが、その後の親同士の付き合い方について、他の人の意見が聞きたい。浜松市の保育園・幼稚園事情を知りたいので、浜松市出身の方を紹介してください。アパートなので花火遊びができないが、どこかやっていい場所はあるか？産後太りは、どのように解消したらいいか。）

（イ）子育て相談事業「おしゃべりひろば」

【対象】０～３歳児親子

【内容】小さなことでも相談、おしゃべりすることで気持ちの負担の軽減につながるよう配慮した。

開催日	活　動　内　容	参加人数
５月19日(木)	トイレトレーニングについて	19組(38人)
７月19日(火)	卒乳について 協力　松浦さん(家庭相談員)	21組(44人)
９月30日(金)	幼稚園・保育園入園に向けて ～生活面・準備物・心構えについて～ 協力　松浦さん(家庭相談員)	26組(59人)
11月25日(金)	楽しく歯磨き 講師　8020双葉事業（歯科衛生士　２名）	17組(38人)
１月20日(金)	子どもの写真撮影･ママたちのアンケートをもとに講話　　講師　スタジオワン福田より２名	15組(32人)

３月 17 日(水)	ママのハンドケア（静岡県子育ては尊い仕事具現化推進事業）　講師　ポーラビューティーディレクター7 名	12 組(30 人)
合　　計		110 組(241 人)

（27 年度　94 組　205 人）

★28 年度もテーマを決め、同じ悩みを持つ親同士が集まり共感し合い、子育てに安心感を持てるようにした。家庭相談員さんも参加し、話を聞いていただいた。参加人数は増えたが、個々に相談したい方が多く感じたため、後半の事業は参加人数を少し抑え、子どもの年齢を限定し、年齢ごとの悩みを聞いて子育ての負担軽減となるよう努めた。

（ウ）福祉課・要保護児童対策地域協議会

年間１２回　会合に参加し、支援の内容を協議した。

乳幼児部会　年間　２回（健康づくり課）

（エ）市内幼稚園の行事参加

開催日	園名（活動内容）	参加人数
５月 31 日(火)	小笠北幼稚園（誕生会）	80 人
８月 31 日(水)	小笠南幼稚園（誕生会）	47 人
12 月６日(火)	小笠東幼稚園（１日入園）	91 人
12 月 17 日(土)	ひかり保育園（家庭教育学級）	43 人

（オ）静岡県子育ては尊い仕事具現化推進事業

開催日	企業名（内容）	参加人数
３月　７日(火)	和光堂 (離乳食の進め方)	26 組(57 人)
３月 17 日(水)	ポーラ　白羽店 （ママのハンドケア）	12 組(30 人)

（カ）健康づくり課・プレパパママサロン参加（年間３回）

（キ）健康づくり課・のんのん教室参加

（ク）健康づくり課・食育連絡会参加

（ケ）社会教育課・ボランティア担当者会議参加

（３）　地域の子育て関連情報の提供

託児や子育て支援に関する情報(民間を含む)を集め、自由に持ち帰ってもらった。

（４）　子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

みんなで子育て「子育てレッスン」

【対象】０歳～３歳の子を持つ保護者

【内容】親の子育て力を高める活動、親のリフレッシュ活動、子どもとのふれあいを楽しむ活動を通して子育ての楽しさを実感してもらった。

【託児協力】更生保護女性の会、民生委員児童委員協議会児童福祉部
【託児依頼】子育てサポートりぼん

月　　日	活　動　内　容	参加人数
４月 21 日(木)	３世代交流（いきいきサロンとの交流） 手遊び･歌遊び､あきらおじいちゃんの紙芝居、 ダンシングきくのん、プレゼント交換	13 組(43 人)
５月 18 日(水)	絵本読み聞かせ・親子読書タイム 講師：水ようおはなし会さん	25 組(55 人)
６月 23 日(木)	食育(ちりめん餃子・茜ごはん) 講師：栄養士　星野真由美さん	20 組(62 人) 託児(16 人)
７月 14 日(木)	アロマテラピー（ボディジェルづくり） 講師：高野智子さん	15 組(51 人) 託児(15 人)
８月 24 日(水)	読みきかせ(手遊び、絵本、紙芝居) 講師：小笠図書館職員２名	17 組(39 人)
９月　３日(土)	３世代交流 （じいじ･ばあば･パパ･ママと一緒に遊ぼう） 手遊び・ふれあい遊び・製作遊び・ﾊﾟﾈﾙｼｱﾀｰ	16 組(62 人)
10 月 19 日(水)	骨盤体操 講師：古池紀匡さん	19 組(55 人) 託児(16 人)
11 月 24 日(木)	食育(ダンドリーチキン・ミルクもち) 講師：栄養士　星野真由美さん	19 組(57 人) 託児(16 人)
12 月　８日(木)	お話コンサート（水ようおはなし会） サンタさんと遊ぼう（まねっこサンタ） リズム遊び（白いおひげのサンタさん）	27 組(65 人)
１月 17 日(火)	スクラップブッキング 講師：藤谷祐美子さん	13 組(44 人) 託児(14 人)
２月　７日(火)	バレエエクササイズ 講師：高橋ゆりなさん	15 組(50 人) 託児(14 人)
３月　７日(火)	離乳食の進め方(子育ては尊い仕事具現化推進事業) 講師：和光堂栄養士さん	26 組(57 人)
合　　計		225 組(640 人)

(27 年度　263 組　749 人)

（５）　地域支援活動の実施

移動子育て支援センター「すくすくひろば」

【対象】子育て中の親子、妊婦さん

【内容】地域へ出向き、手遊び、おもちゃ遊び、歌、絵本、ボール遊び、制作、ふれあいトーク等を通して子育て支援を行った。身近な人たちとのふれあいの中で地域の人たちとの絆を深め、地域を知る良い機会となった。

地区センター名	回　数	参加組数	延べ人数
西方地区センター	4	64 組	138 人
河城地区センター	4	63 組	138 人
青葉台コミュニティセンター	3	39 組	81 人

横地地区センター	4	52 組	113 人
内田地区センター	建設工事中のため、中止		
加茂地区センター	4	70 組	152 人
牧之原農村婦人の家	4	41 組	92 人
合　　計	23	329 組	714 人

（27 年度　28 回　378 組　850 人）

★　28 年度は、青葉台コミュニティセンターの都合による利用制限・内田地区センター建設工事で使用できないことの理由で、28 回の計画が 23 回となった。また、参加希望が多くてキャンセル待ちが発生することがあったため、より多くの親子に参加いただけるよう月２回同じ内容として、どちらかを選んで申し込むこととし、分散を図った。その結果、参加組数は落ち着いたが、延べ人数は減少した。牧之原地区の親子にも参加していただきたい、との願いで牧之原農村婦人の家を利用していたが、ここ数年はは牧之原地区の参加者はいなかったため、29 年度は希望者の多い六郷地区センターを新たな開催場所とする。

（６）職員研修

月　日	内　　容
６月 14 日～17 日	児童厚生員等基礎研修会（東京）
８月２日(火)	静岡県子育て未来マイスター研修　初級（静岡）
８月９日(火)	子どもの遊び方研究会（名古屋）
８月８日～９日	子育て支援センター全国セミナー2016in 千葉
９月 17 日(土)	救急法講習会（菊川消防署）
９月 29 日(木)	静岡県児童館連絡協議会　研修会（袋井）
１月 26 日(木)	静岡県西部地区児童館連絡会　実技研修会（三ヶ日）
３月 16 日(木)	静岡県子育て未来マイスターフォローアップ研修（静岡）
３月 28 日(火)	中電研修会　オリジナルビニール傘作り（アエル）

７．おがさ子育て支援センター「ひまわり」事業

子育て家庭(これから子育てを始める方を含む)の家族の居場所・友だち作りの場・相談の場として活用してもらい、少しでも安心して楽しい子育てが出来るように支援する。また子どもたちの健やかな成長の支援ができるようにと子育て親子の交流の場の提供や講習会を開催し、子育てに関する相談に応じることで子育てを支援してきた。

（１） 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

① 自由来館

親子や友だちと一緒に遊んだり、子どもとゆったりと過ごす場の提供をした。単独で来ている来館者には館内利用の案内したり、他の来館者との仲を取り持つなど交流する場を作った。職員は様子を見ながら話しかけたり、子どもとのふれあいをきっかけにお母さん達との距離を縮め気軽に声をかけてもらえるような雰囲気作りを意識した。

② コロコロタイム(２クラス編成)(年間登録制の教室)

【対象】市内の３ヵ月～1 才未満の親子 （A組 16 組、B組 15 組）

【日時】各クラス毎月１回水曜日（４月・８月は除く）午前 10 時～午前 11 時

【目的】親子でふれあいを楽しんだり、子育てを楽しめるように色々な角度から挑戦した。また、フリートークでは「子育てについて」おしゃべりをした。

【協力】講座時には更生保護女性会に託児依頼

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月 11 日(水) 25 日(水)	AB　ふれあい遊び・自己紹介ゲーム・避難訓練	31 組
６月９日(木) 23 日(木)	AB　親子ヨガ　講師：越水律子　氏	27 組
７月６日(水) 20 日(水)	AB　簡単おもちゃ作り・フリートーク	27 組
９月２日(金) 20 日(火)	AB　乳幼児の心肺蘇生法 講師　消防署職員 （託児　更生保護女性会　10 人）	27 組
10 月 12 日(水) 19 日(水)	AB　「幼児の食事」 講師　栄養士　星野真由美　氏	24 組
11 月 12 日(土)	AB　合同親子でリトミック 講師　リトミックランド	31 組
12 月 14 日(水)	AB　合同クリスマス会	26 組
１月 11 日(水) 25 日(水)	AB　ふれあい遊び・簡単おもちゃ作り・フリートーク	21 組
２月 ８日(水) 22 日(水)	AB　ふれあい遊び・豆まき工作・豆まきあそび フリートーク	21 組
３月 15 日(水)	AB　合同ふれあい遊び・手形工作	24 組
合計 平均参加率		259 組 83.5%

（H27 年度参加者数　261 組）

③　いないいないばぁ

【対象】生後３カ月から１歳までの親子どなたでも（どちらか１日）

【日時】４月より毎月２回（8 月を除く）　　午前 10 時～午前 11 時

【目的】赤ちゃんとのふれあい方を学んだり、お母さん同士おしゃべりをする中で、子どもの育ちをみつめ不安やストレスを和らげた。またお母さん達の友だち作りの場とした。

月　　日	活　動　内　容	参加者
４月　８日(金) 15 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会	35 組
５月 13 日(金) 27 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会 終了後　リユースマーケット（13 日のみ）	35 組 64 組
６月　３日(金) 24 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会	35 組
７月　８日(金) 15 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会	35 組
９月 16 日(金) 23 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり 小笠東小学校見学(16 日)	34 組 小８人
10 月　７日(金) 21 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会 終了後　リユースマーケット（21 日のみ）	44 組 77 組
11 月　４日(金) 25 日(金)	親子ヨガ　講師：越水律子先生 ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会	37 組
12 月　４日(金) 11 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　サンタ登場	23 組
１月 13 日(金) 27 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会	25 組
２月　３日(金) 17 日(金)	ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会	28 組
３月　３日(金) 17 日(金)	コンサート　ゲスト　こすもす ベビーマッサージ　歌　ふれあい遊び　おしゃべり会	28 組
合計		500 組

（H27 年度参加者数　366 組）

④　ちびっこおたのしみ館

【対象】どなたでも参加できる

【日時】毎月第２、第４火曜日　　午前 10 時～午前 11 時

【目的】いろいろな遊びを通して母と子のふれあい、またお友達との関わりを楽しむ。

月　　日	活　動　内　容	参加者
４月 12 日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ(子育てサポートりぼん) 工作「こいのぼり」　パネルシアター	23 組
４月 26 日(火)	【青空】黒沢公園にて 手あそび　絵本の読み聞かせ　遊具あそび・ボール シャボン玉	８組

５月 10 日(火)	絵本の読み聞かせ　工作「牛乳サッカーボール」 パネルシアター　　家庭相談員	16 組
５月 24 日(火)	【青空】蓮池公園にて 手あそび　絵本の読み聞かせ　遊具あそび・ボール シャボン玉	7 組
６月　７日(火) 21 日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ　工作「たなばたかざり」 パネルシアター　きくのん来館(21 日)　　家庭相談員	41 組
７月　５日(火) 12 日(火)	工作「シロクマちゃんのやまのぼり」 「お買いものセット」 絵本の読み聞かせ　パネルシアター　　家庭相談員	38 組
９月　６日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ 工作「ガチャポンマイク」 パネルシアター　　家庭相談員	26 組
９月 27 日(火)	お月見コンサート　　ゲスト　ポコ・ア・ポコ	45 組
10 月 11 日(火)	ハロウインごっこ　工作「ハロウインバッグ」リズム 読み聞かせ　ペープサート　手遊び	22 組
10 月 25 日(火)	【青空】蓮池公園にて 遊具・おもちゃ・シャボン玉・読み聞かせ	12 組
11 月　８日(火)	おたのしみ人形劇　　ゲスト 水ようおはなし会	22 組
11 月 22 日(火)	絵本の読み聞かせ　工作「おさんぽバッグ」リズム エプロンシアター	29 組
12 月　６日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ(子育てサポートりぼん) ペープサート　工作「スターステッキ」 リズム「白ひげのサンタさん」　絵本の読み聞かせ	22 組
12 月 20 日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ　工作「しめなわ」 リズム　パネルシアター	19 組
１月 10 日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ(子育てサポートりぼん) 工作「こま」リズム　パネルシアター	14 組
１月 24 日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ　工作「鬼バッグ」 おたのしみコンサート　　ゲスト こすもす	20 組
２月　７日(火) 20 日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ　工作「でんでんだいこ」 「おひなさま」リズム　シアター	39 組
３月　７日(火) 20 日(火)	手あそび　絵本の読み聞かせ　工作「コロコロまてまて」「ぴょんぴょんカエル」リズム　パネルシアター	37 組
合計		440 組

(H27 年度参加者　511 組)

⑤　みんなみんなよっといでふれあい運動会

【対象】市内の親子家族どなたでも

【場所】小笠体育館

【目的】いろいろな年齢の子やたくさんの家族が寄りつどい、年に１度の運動会を楽しむ。

月　　日	活　動　内　容	参加者
11 月５日(土)	かけっこ・借り物競走・玉入れ・パン食い競争 じゃんけん汽車・リズム・他	116 人

(H27 年度参加者数　114 人)

（２）子育てに関する相談、援助の実施

①　子育て相談業務

子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また来館者に積極的に声を掛け、多くの見守りの中での子育てを感じてもらえるように配慮した。

(単位：件)

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	合計
来館	15	15	20	23	9	16	19	22	19	14	19	14	205
電話	0	2	2	3	0	1	0	0	1	3	1	3	16

(児童館相談件数と重複)

その他、乳児親子のひろば「いないいないばぁ」や会員制乳児親子教室「コロコロタイム」でフリートークタイムを持ち、その場に職員や市の相談員が入り、一緒に考え共感してアドバイスを行った。気になる親子がいた時は相談員や保健師へ繋げたり専門機関を紹介をした。継続した見守りも大切なのでその後にも声かけを行った。また受けた相談について職員間で共通理解を持った。

＜相談内容＞

子どもの発達について・毎日の中の生活習慣について・食生活について
子どもの健康について・子供の性格について・母親の悩み事について(祖父母とのこと・夫のこと・自分の子育てについて・他）・祖母より母親について等

②　読み聞かせ＆ホットタイム

【対象】どなたでも
【日時】年５回　　午前 10 時～11 時 30 分
【場所】平川地区防災コミュニティセンター
【目的】親子で絵本を楽しみ、お母さん同士のおしゃべりの中で子育ての悩みなど共有しあう。また、友達作りの場とした。

月　　日	活　動　内　容	参加者
４月 21 日(金)	読み聞かせ・おしゃべり会・誕生会　　家庭相談員	５組
６月 10 日(金)	〃	８組
８月 19 日(金)	〃	１組
10 月 28 日(金)	〃	13 組
12 月 16 日(金)	〃	14 組
２月 24 日(金)	〃	９組
合計		50 組

(H27 年度参加者数　６回 91 組)

★誕生会を行うことにより当事者は忘れずに参加してくれるようになったが、やはり２か月に１回の割合ではピンとこず、なかなか参加者数は伸びなかった。
職員との関わりを楽しむ様子は見られたのでよかった。
「いないいないばぁ」を卒業した親子に声をかけおしゃべりの場の紹介をもっとしていきたい。

③　菊川市要保護児童対策協議会
　児童部会　毎月会合に参加　情報を共有しながら支援を協議した。
　乳幼児部会　年間２回参加　情報を共有しながら支援を協議した。

④　市内幼稚園の誕生会に参加

開催日	園　名	参加人数
９月 30 日(金)	小笠南幼稚園	55 人
11 月 30 日(水)	小笠北幼稚園	84 人
１月 31 日(火)	小笠東幼稚園	56 人

⑤　静岡県子育ては尊い仕事具現化推進事業

開催日	企業名(内容)	参加人数
12 月 13 日(火)	ポーラ　ハンドマッサージ＆子育てトーク	９組 23 人

⑥　健康づくり課　プレパパママサロン(年間３回)
⑦　社会教育課　菊川市ボランティア担当者会議
⑧　健康づくり課　食育連絡会(年間３回)
H28 年度は「大豆を使った料理教室」(小学生版)として事例発表(２/24(金))

（３）地域の子育て関連情報の提供
・子育て情報の提供
　支援センター―たよりおよび子育てに関する県、市からのお知らせ・託児情報・サークル情報など、また幼稚園の自由来園情報や入園のお知らせなど自由に取れるように配架した。

（４）子育て及び子育て支援に関する講習会などの実施
① 頭と心と体講座
【対象】市内の子育て中のお母さん
【日時】年８回
【場所】子育て支援センター・中央公民館
【目的】子育て中のお母さんが子育てスキルアップのため、また子どもと少し離れリフレッシュする時間を楽しんだ。

月　　日	活　動　内　容	参加者
４月 27 日(水)	絵本の読み聞かせ講座　　講師　水ようおはなし会	19 組
５月 28 日(土)	フラワー*スタンド制作　　講師　鈴木啓子　氏 (託児 中学生　４人　　更生保護女性会　８人)	11 組
６月 29 日(水)	夏のリース簡単工作　　講師　支援センター職員 (見合いっこ託児)	18 組

7月27日(水)	大人の万華鏡制作　　講師　支援センター職員 （託児 中学生　８人　　更生保護女性会　２人）	9組
9月　7日(水)	歯の講座　　講師　青野旬子　氏	12組
10月　1日(土)	マットピラティス　　講師　木村憂子　氏 （更生保護女性会　10人）	10組
11月29日(火)	クリスマスバージョンスクラッププブッキング 講師　支援センター職員 （見合いっこ託児）	16組
3月　9日(木) 14日(火)	フェルトバッグ簡単制作　　講師　支援センター職員 （見合いっこ託児）	16組 12組
合計		104組

（H27年度参加者数　102組）

② 防災講座

【対象】市内の方どなたでも
【日時】年１回
【場所】子育て支援センター
【目的】ママのための防災講座

月　　日	活　動　内　容	参加者
9月21日(水)	ママのための防災講座 講師　子どもの健康と環境を考える会	18組

（5）地域支援活動の実施

・移動児童館“よっといで”に参加。地区センターやセントラルパークで地域の人たちとふれあった。
・菊川市健康づくり課主催のプレママ＆パパサロンに出かけて行き支援センターを知ってもらうＰＲ活動をした。

① 職員研修参加

月　　日	内　　容
9月8(木)～9日(金)	第７回子育て支援センター全国セミナー
9月29日(木)	静岡県児童館連絡協議会　　厚生員研修会　講話
10月20日(木)	H28年度子育て未来マイスター研修　上級　第１回
11月　8日(火)	H28年度子育て未来マイスター研修　上級　第２回
11月17日(木)	H28年度子育て未来マイスター研修　上級　第３回
H29年２月３日(金)	菊川市社会福祉協議会職員研修会　コミュニケーション
３月16日(木)	H28年度子育て未来マイスター研修　フォローアップ

８．　介護保険事業

介護保険事業所を取り巻く環境は、利用者数の減や、サービス内容の変化等により減収となった。人材確保や介護職員の待遇改善、職員の効率的な配置や業務の兼務化にも取り組み、引き続き安定した経営に努めた。今後も「信頼される心のこもったあったかいサービス」の提供に努力していきたい。

Ⅰ　居宅介護支援事業

きくがわ居宅介護支援事業所（ケアプラン作成件数）前年度 2,304 件　(187 件)

（単位：件）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
介護	157	151	150	155	153	149	153	151	145	149	151	147	1,811
予防	29	31	31	29	31	31	32	34	36	37	34	33	388
計	186	182	181	184	184	180	185	185	181	186	185	180	2,199

Ⅱ　訪問介護事業

きくがわヘルパーステーション（月別稼動状況）

前年度　派遣回数 4,895 回　稼働時間 4,280 時間　利用者数 514 人

（単位：回、時間、人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
派遣回数	458	436	423	487	434	437	451	446	409	437	489	544	5,451
稼働時間	469	451	476	519	467	454	454	474	417	429	465	514	5,589
利用延数	33	33	34	34	32	31	32	33	32	34	31	33	392

Ⅲ　通所介護事業

(1)　中部デイサービスセンター〔通常規模〕　　(利用実績)

前年度　運営日数 309 日　利用延数 8,009 人　1 日平均 25.9 人

（単位：日、人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
運営日数	26	26	26	26	27	26	26	25	24	24	24	27	307
利用延数	704	667	665	663	670	647	649	626	610	450	530	640	7,521
１日平均	27.1	25.7	25.6	25.5	24.8	24.9	25.0	25.0	25.4	18.8	22.1	23.7	24.5

Ⅳ　訪問看護事業

（1）　きくがわ訪問看護ステーション　（月別稼動状況）

前年度　利用者数 826 人　利用件数 4,461 件　利用時間 3,826 時間

（単位：人、件、時間）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
利用者数	69	63	70	75	72	68	69	74	70	73	73	69	845
利用件数	397	345	376	381	390	371	378	374	346	366	349	390	4,463
利用時間	318	286	305	312	321	305	309	302	277	296	281	315	3,627

ア　菊川市難病患者等介護家族リフレッシュ事業（就学支援事業）

行政からの委託事業として平成 28 年 10 月から受託。学校への登下校や在校時に医療的ケアを必要とする難病患者等に対して医師の指示により医療ケアを行い、介護に従事している家族の介護負担を軽減する目的で実施した。

	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
利用者数	1	1	1	1	1	5
利用件数	3	4	3	4	3	17

実習生受入状況

地域福祉推進と福祉に関わる人材育成を目的に、多様な機関から多くの実習生を受け入れている。

NO	期　間	機　　関	受入先
1	４/22	タップ㈱（１名）	ヘルパーステーション
2	３/８～３/24	静岡福祉大学	菊川市社会福祉協議会

9.　障害者総合支援法事業

障害者総合支援法に基づく、居宅介護と地域生活支援事業は利用者も少ないため、単事業では経営は困難な部分もあるが、介護保険事業と一体化した体制で運営していくことで、在宅での暮らしを支援し、個別のニーズに対応している。

Ⅰ　居宅介護等事業

社協きくがわ支援事業所

前年度　派遣回数 761 回　稼働時間 984 時間　延利用者数 114 人

（単位：回、時間、人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
派遣回数	62	54	51	52	52	50	37	52	50	39	37	46	582
稼働時間	77	66	71	62	69	64	46	61	61	48	52	61	738
利用者数	10	10	10	8	10	9	9	9	11	11	10	10	117

Ⅱ　地域生活支援事業

(1)　訪問入浴事業　　前年度　派遣回数 49 回　延利用者数 12 人

（単位：回、人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
派遣回数	3	5	4	4	5	3	4	4	4	3	4	4	47
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(2)　移動支援事業

前年度　派遣回数 60 回　稼動時間 240.0 時間　延利用者数 15 人

（単位：回、時間、人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
派遣回数	4	4	3	4	3	0	4	6	3	6	3	6	46
稼動時間	21	20	15	22	16	0	11	22	12	14	14	20	187
利用者数	1	1	1	1	1	0	2	2	1	1	1	2	14

平成 28 年度　事業報告の附属明細書

平成 28 年度の事業報告に関して、定款第 35 条第 1 項第 2 号に規定する事業報告の附属明細書について、※記載する事項は、ありません。

※社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する“事業報告の内容を補足する重要な事項”